

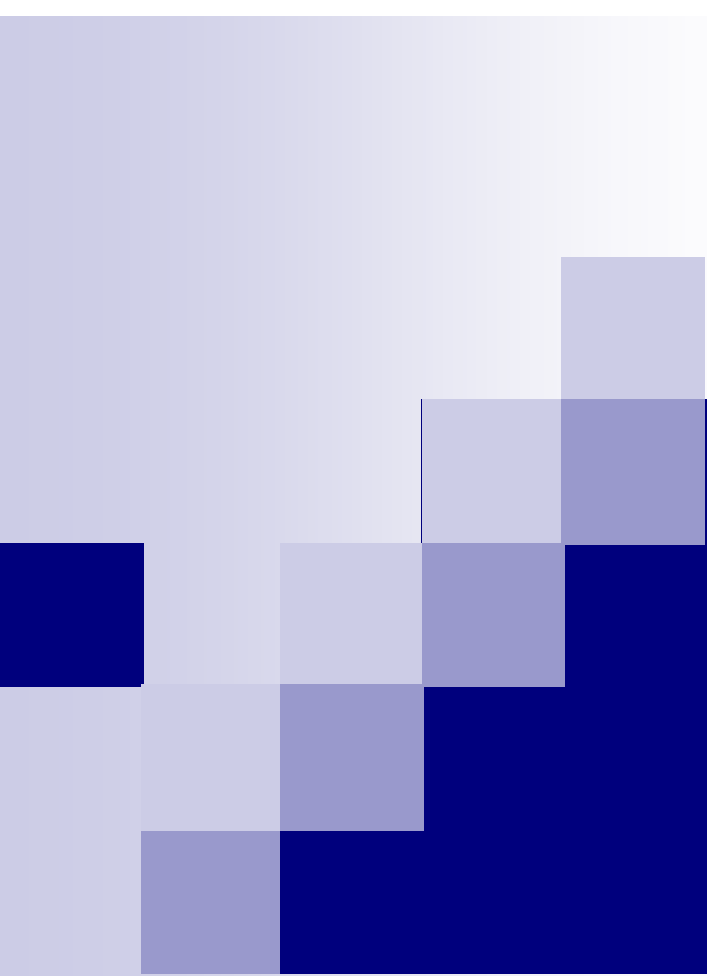
紀の川水系貴志川圏域 河川整備計画(素案)について

平成28年2月19日

和歌山県

目次

○紀の川水系河川整備基本方針	2
紀の川水系河川整備基本方針の概要	3
○紀の川水系貴志川圏域河川整備計画(素案)	7
整備計画の内容	8
第1章 貴志川圏域の流域及び河川の概要	9
第2章 貴志川圏域の河川の現状と課題	15
第3章 河川整備計画の目標に関する事項	28
第4章 河川の整備の実施に関する事項	35
○貴志川流域を考える会でいただいた主なご意見等	46



紀の川水系河川整備基本方針

(平成17年11月18日策定)

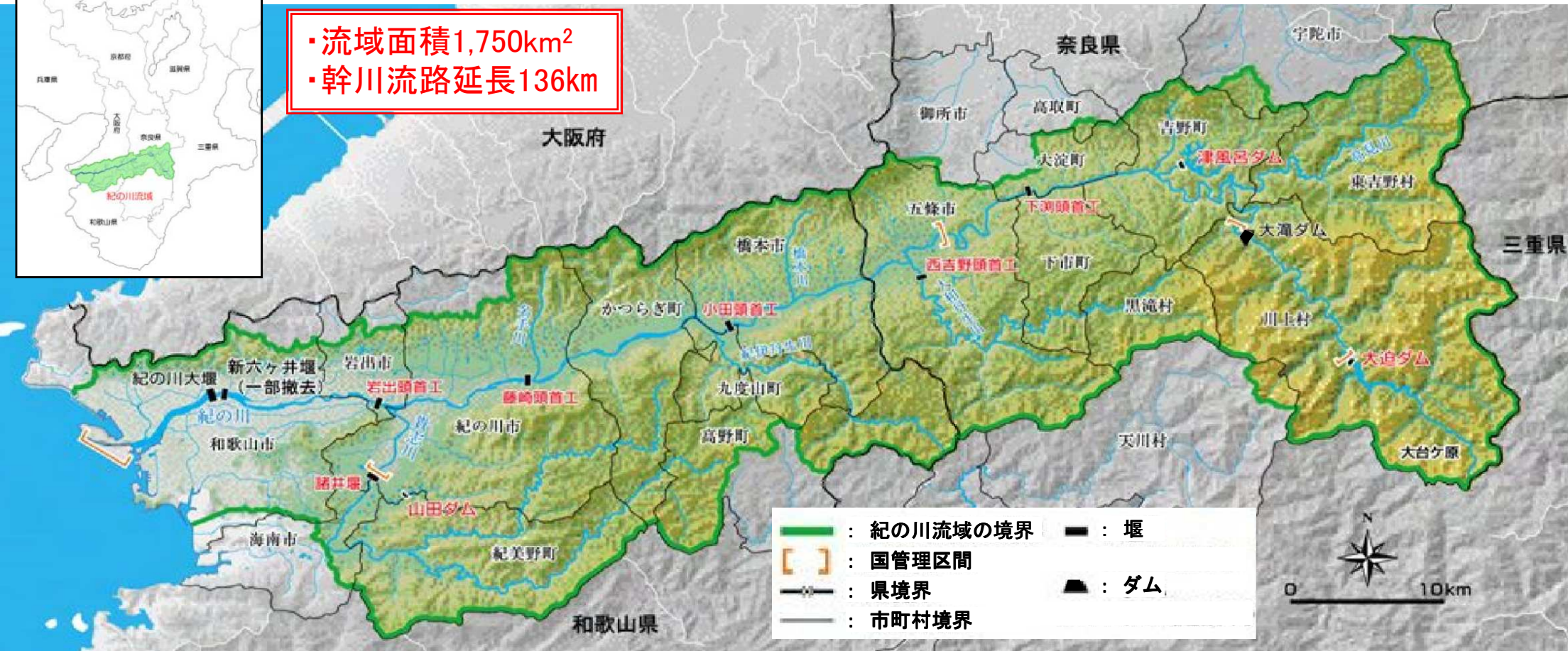
紀の川水系河川整備基本方針の概要①

<流域及び河川の概要>

紀の川は大台ヶ原を源流とし、中央構造線に沿って紀伊半島の中央を貫流し、高見川、大和丹生川、紀伊丹生川、貴志川等を合わせ、さらに紀伊平野に出て、和歌山市において紀伊水道に注ぐ。



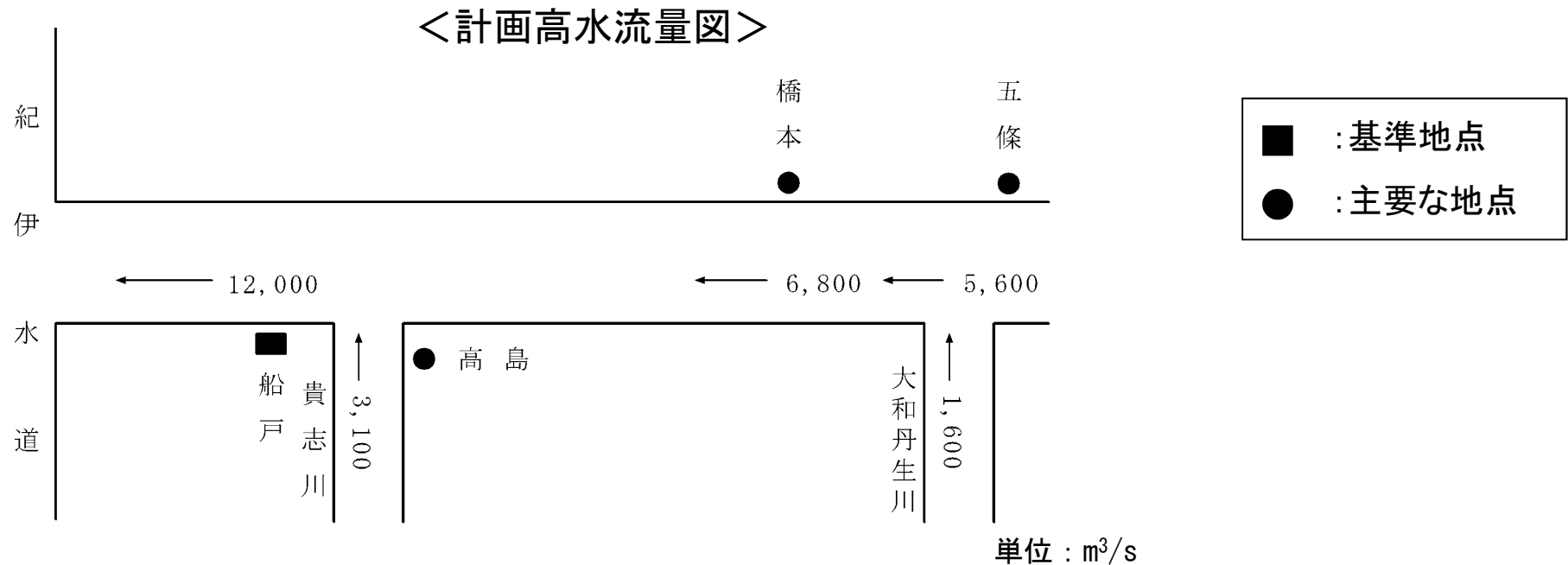
- ・流域面積1,750km²
- ・幹川流路延長136km



紀の川水系河川整備基本方針の概要②

<災害の発生の防止又は軽減>

- 基本高水のピーク流量は基準地点船戸において $16,000\text{m}^3/\text{s}$ とし、このうち流域内の洪水調節施設により $4,000\text{m}^3/\text{s}$ を調節して河道への配分流量を $12,000\text{m}^3/\text{s}$ とする。
- 計画高水流量は、五條において $5,600\text{m}^3/\text{s}$ とし、大和丹生川をあわせて、橋本において $6,800\text{m}^3/\text{s}$ 、紀伊丹生川、貴志川等をあわせて船戸において $12,000\text{m}^3/\text{s}$ とし、その下流は河口まで同流量とする。支川貴志川については高島において $3,100\text{m}^3/\text{s}$ とする。



河川名	基準地点	基本高水のピーク流量	洪水調節施設による調節流量	河道への配分流量
紀の川	船戸	16,000	4,000	12,000

紀の川水系河川整備基本方針の概要③

<河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持>

- ・水資源開発施設による供給を行うとともに、広域的かつ合理的な水利用の促進を図るなど、都市用水等の安定供給や流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保に努める。
- ・紀の川大堰地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量は、利水の現況、用水の反復利用、動植物の保護・漁業、景観、流水の清潔の保持等を考慮して、かんがい期は概ね $5\text{m}^3/\text{s}$ 、非かんがい期は概ね $4\text{m}^3/\text{s}$ とする。

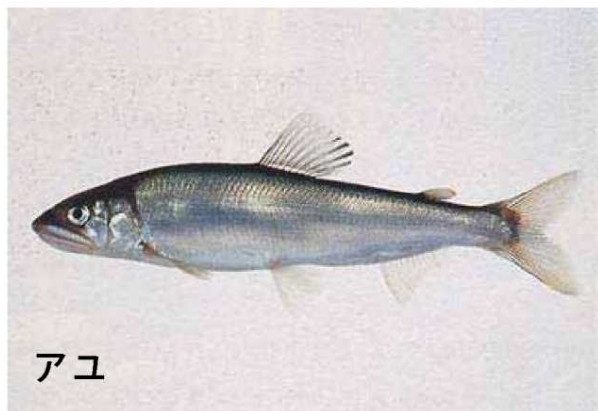
紀の川水系河川整備基本方針の概要④

<河川環境の整備と保全>

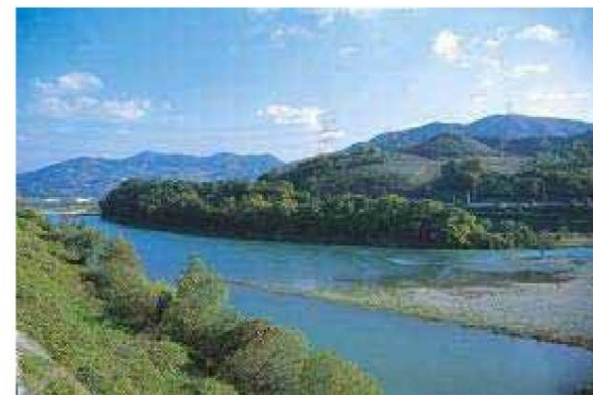
- ・シオマネキ等が生息する汽水域の干潟を保全するとともに、貴重な湿地性植物や多様な生物を育む下流部の浅瀬の保全に努める。
- ・アユ等の回遊性魚類の遡上や降下、生活史を全うできる成育・産卵といった縦断的な生息環境の保全に努める。
- ・万葉集にも詠われる船岡山をはじめとした歴史・文化との関わりが深い河川景観の保全に努める。



シオマネキ



アユ



船岡山



紀の川水系貴志川圏域 河川整備計画(素案)

河川整備計画の内容

第1章 紀の川水系貴志川圏域の流域及び河川の概要

- 流域の概要

第2章 貴志川圏域の河川の現状と課題

- 治水、河川利用、河川環境、の現状と課題

第3章 河川整備計画の目標に関する事項

- 河川整備計画の対象区間、対象期間
- 河川整備計画の目標

第4章 河川の整備の実施に関する事項

- 河川工事の内容(目的、種類、範囲)
- 河川の維持の目的、種類及び施行の場所
- その他河川整備を総合的に行うために必要な事項



第1章 紀の川水系貴志川圏域の 流域及び河川の概要

1.1 流域の概要①

◆貴志川は、高野山西麓を水源とし紀の川に合流する、流域面積313.2km²の一級河川である。



圏域諸元

圏域面積	313.2km ²
圏域県管理河川	14河川
関連市町	海南市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、高野町
人口※	15万人（平成22年国勢調査）

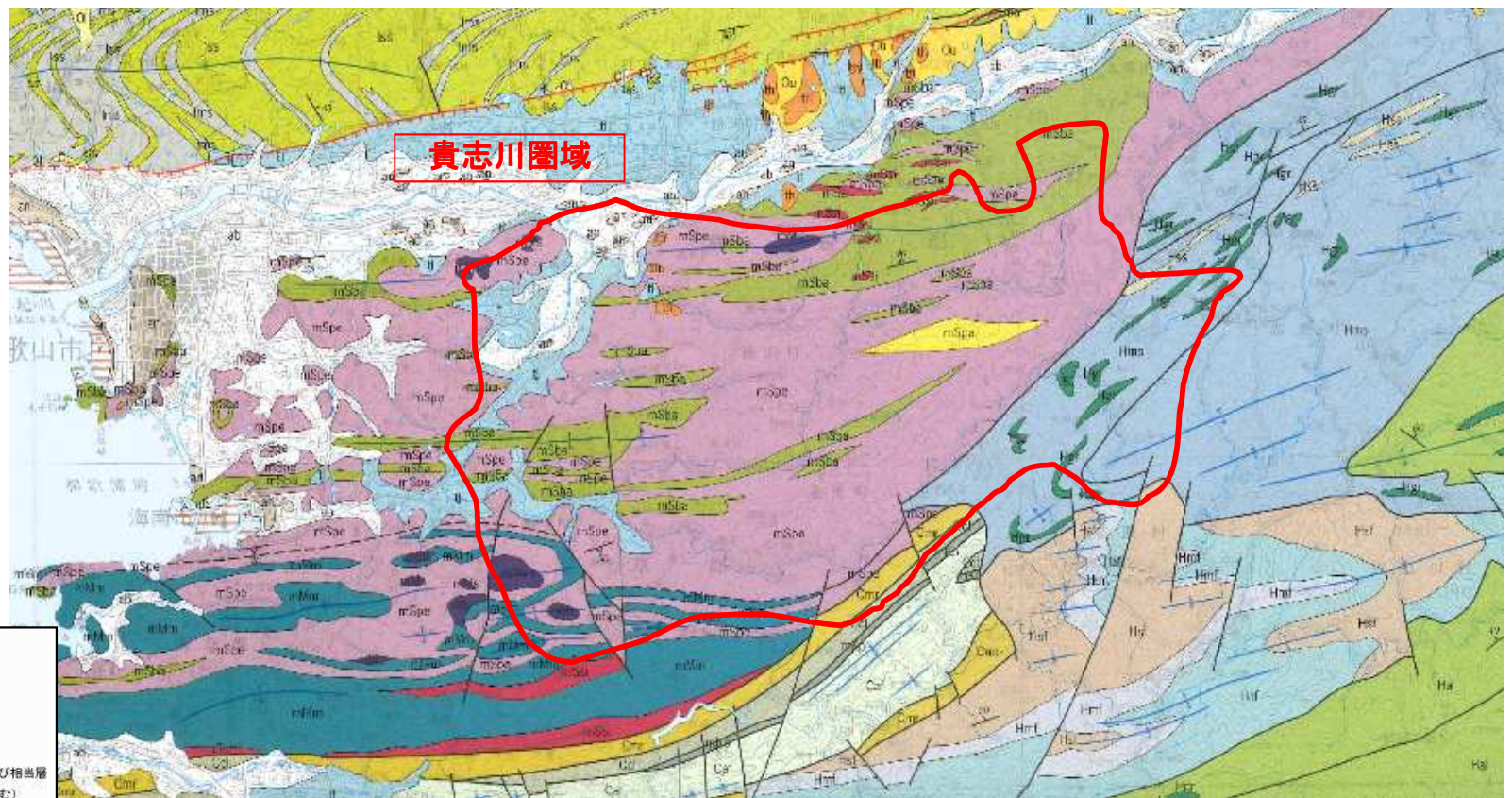
貴志川圏域の河川

※海南市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、高野町の合計

1.1 流域の概要②

(1)地質

- ◆上流・中流域の大半が三波川変成帯に属し、三波川変成岩類の泥質片岩で構成されている。
- ◆下流域は礫・砂・泥から成る中位・低位段丘相当層が分布し、紀の川との合流点付近は谷底平野堆積物である砂や泥が分布している。



凡例

- | | |
|---------------|-----------------------|
| ○三波川変成岩類 | ○中位・低位段丘相当層 |
| mSpe 泥質片岩 | t.l 礫・砂・泥 |
| mSpa 砂質片岩 | ○高位段丘相当層 |
| mSsa 苔鉄質片岩 | th 礫・砂・泥 |
| mSsl 珪質片岩 | ○大阪層群中部至層群・上部至層群及び相当層 |
| mSh 蛇紋岩 | Du 礫・砂・泥（火山灰層を挟む） |
| ○後背湿地・谷底平野堆積物 | ○大阪層群下部至層群及び相当層 |
| ab 砂・泥 | Dl 礫・砂・泥（火山灰層を挟む） |
| ○自然堤防・砂州堆積物 | ○和泉層群 |
| an 礫・砂 | Iss 礫岩・砂岩・砂岩優勢互層 |
| | Ims 泥岩・泥岩優勢互層 |

出典)近畿地方土木地質図解説書
近畿地方土木地質図編集委員会 平成15年3月

1.1 流域の概要③

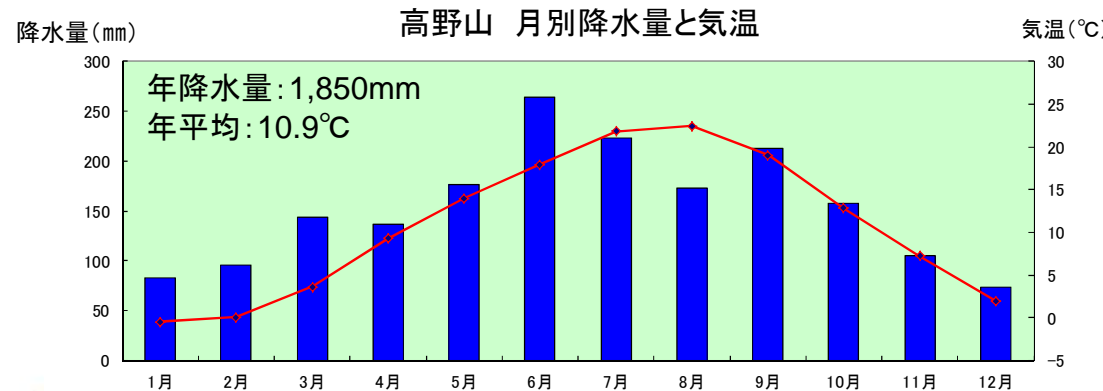
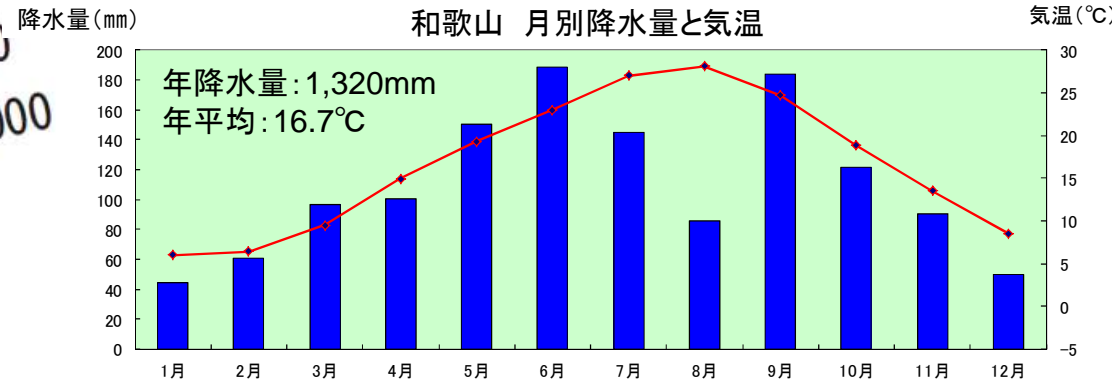
(2) 気候

◆ 圏域の気候は、瀬戸内気候区に属しており、全国の年平均気温 15.5°C に対し、和歌山では約 16.7°C と温暖であるが、高野山では約 10.9°C と低くなっている。年平均降水量は和歌山では約 $1,300\text{mm}$ 、高野山では約 $1,850\text{mm}$ で、梅雨時期及び台風期に多く冬期は少ない。

年降水量分布図



1981年～2010年の30年間の平均値



出典)パンフレット 和歌山の河川

出典)気象庁ホームページ

1.1 流域の概要④

(3) 歴史・文化・観光

◆ 圏域の上流は、霊場高野山に通じる道沿いに位置することから、高野山と歴史的な関わりが深く、多くの名所・旧跡が残されており、歴史や文化が息づいた地域となっている。

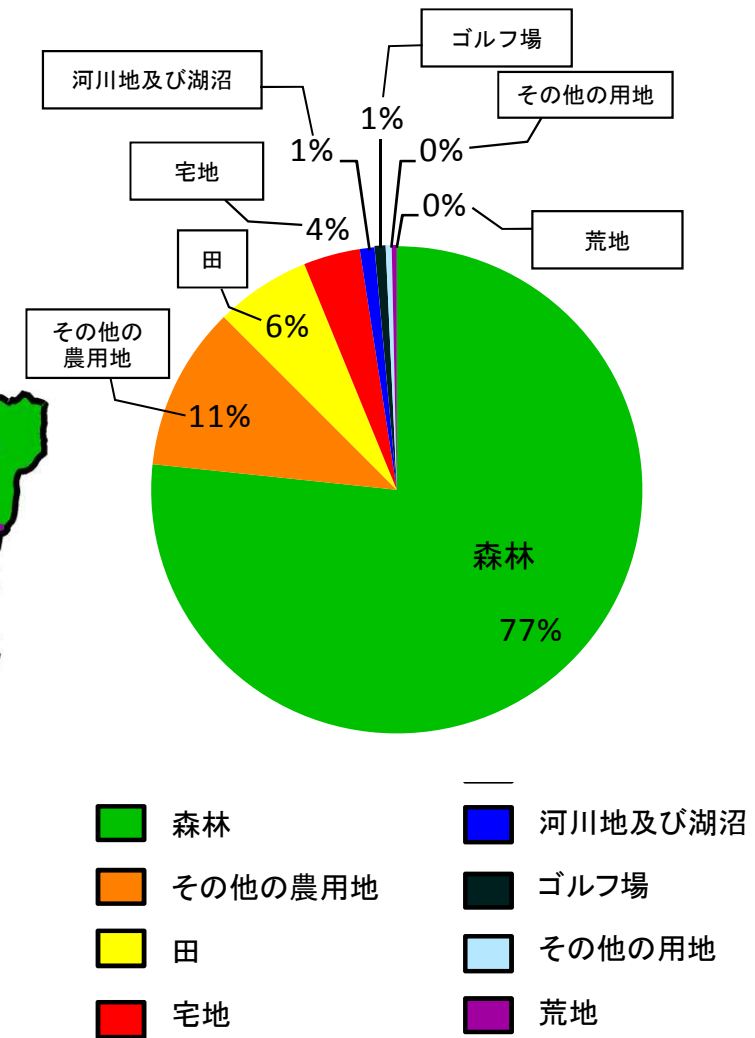
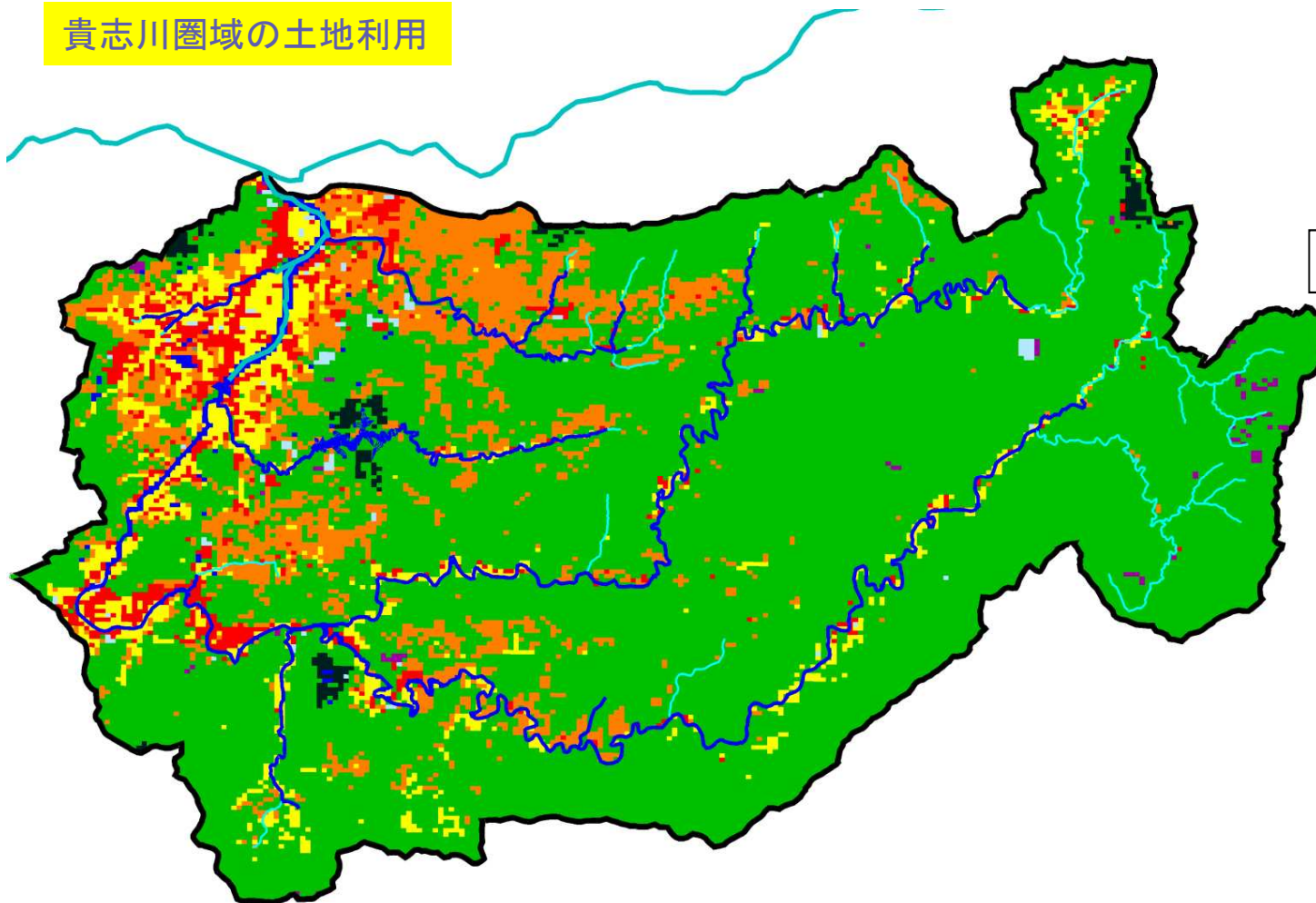


1.1 流域の概要⑤

(4) 土地利用

◆山林が約77%を占め、次に田畑が約17%となっており、宅地は約4%となっている。

貴志川圏域の土地利用





第2章 貴志川圏域の 河川の現状と課題

2.1 治水の現状と課題①

(1) 過去の洪水被害の概要①

- ◆平成13年6月豪雨で床下浸水55戸、床上浸水20戸、県内に甚大な被害をもたらした平成23年9月の台風12号では床下浸水69戸、床上浸水57戸等、貴志川、真国川などの河川で家屋浸水被害が発生している。

平成13年6月洪水

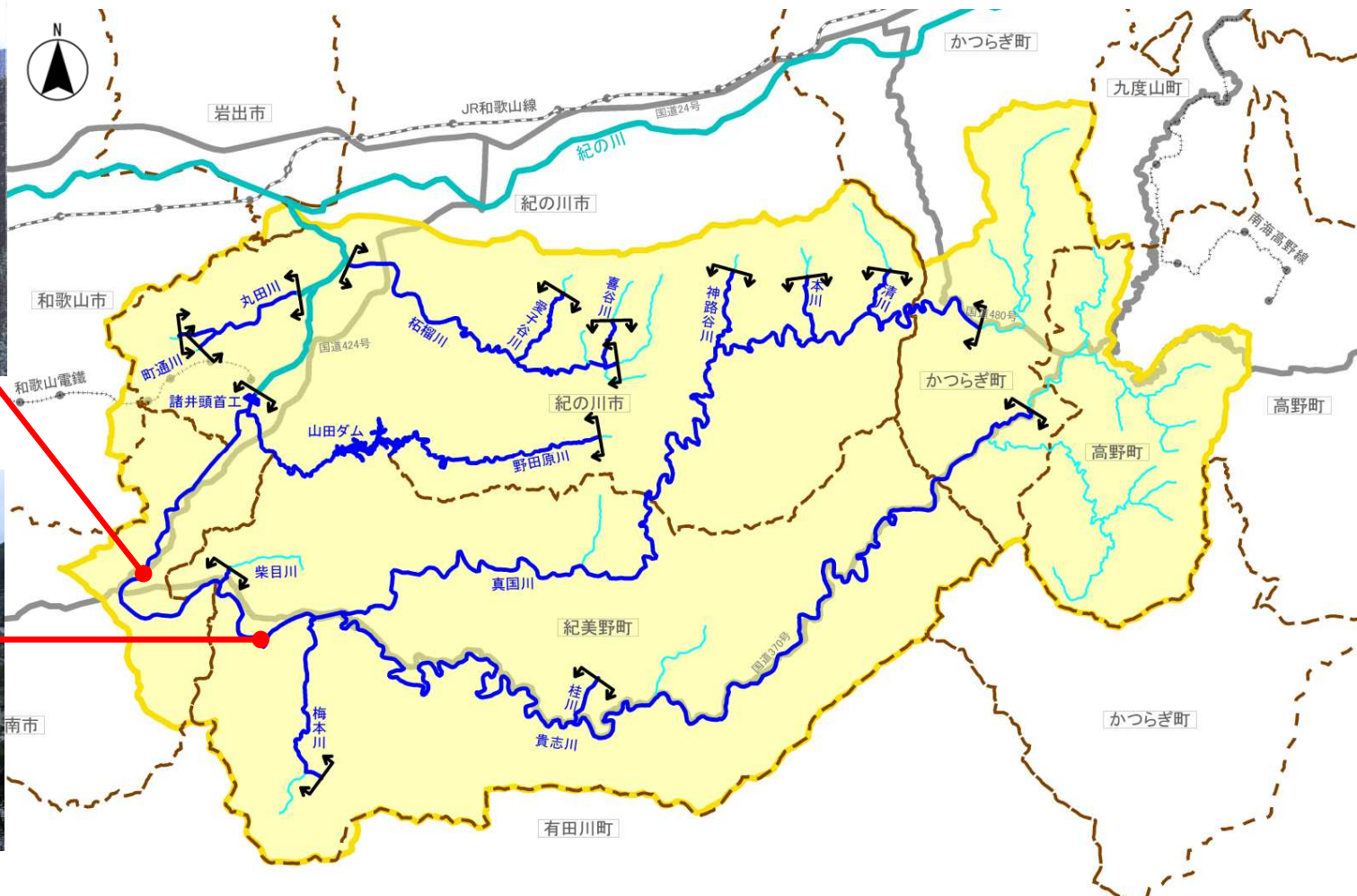


国道424号冠水状況

平成23年9月台風12号洪水



紀美野町下佐々地区



2.1 治水の現状と課題②

(1) 過去の洪水被害の概要②

河川名	発生時期		市町村名	浸水面積 (ha)	被災家屋棟数				
	年度	日時			床下 浸水	床上 浸水	半壊	全壊 流出	その他
貴志川	H26(2014)	8/9～8/10(台風11号)	紀の川市・紀美野町	20.00	3				
	H25(2013)	9/15～9/16(台風18号)	海南市	不明	4	1			3
	H24(2012)	6/14～6/28(梅雨前線豪雨及び台風4号)	紀美野町	0.070	3				
	H23(2011)	8/30～9/7(台風12号及び豪雨)	海南市・紀の川市・紀美野町	194.21	69	57	20	8	
	H13(2001)	6/18～6/30(梅雨前線豪雨)	海南市・貴志川町・野上町・美里町	27.28	55	20			
	H10(1998)	5/15～5/17(豪雨)	海南市	0.010	1				
	H7(1995)	6/29～7/23(梅雨)	野上町	0.034	5				
	H5(1993)	9/6～9/10(台風14号)	海南市	0.0002	1				
	H1(1989)	8/31～9/16(豪雨、落雷)	海南市	0.0003	3				
S50(1975)	8/5～8/25(豪雨及び暴風雨)		0.0011	19				1	
柘榴川	S53(1978)	6/7～7/5(台風3号と豪雨)	桃山町	0.01	5				
野田原川	H13(2001)	6/18～6/30(梅雨前線豪雨)	桃山町	0.02	4				
	S50(1975)	8/5～8/25(豪雨及び暴風雨)	桃山町	0.0009	28				
町通川	S50(1975)	8/5～8/25(豪雨及び暴風雨)	貴志川町	0.0002	4				
真国川	H23(2011)	9/1～9/4(台風12号)	紀の川市・紀美野町	1.52	13	20	7	3	
	H13(2001)	6/18～6/30(梅雨前線豪雨)	野上町	0.061	5				
柴目川	H10(1998)	5/15～5/17(豪雨)	野上町	0.0076	1				

出典 昭和50年～平成24年は水害統計
平成25、26年は河川課調べ

2.1 治水の現状と課題③

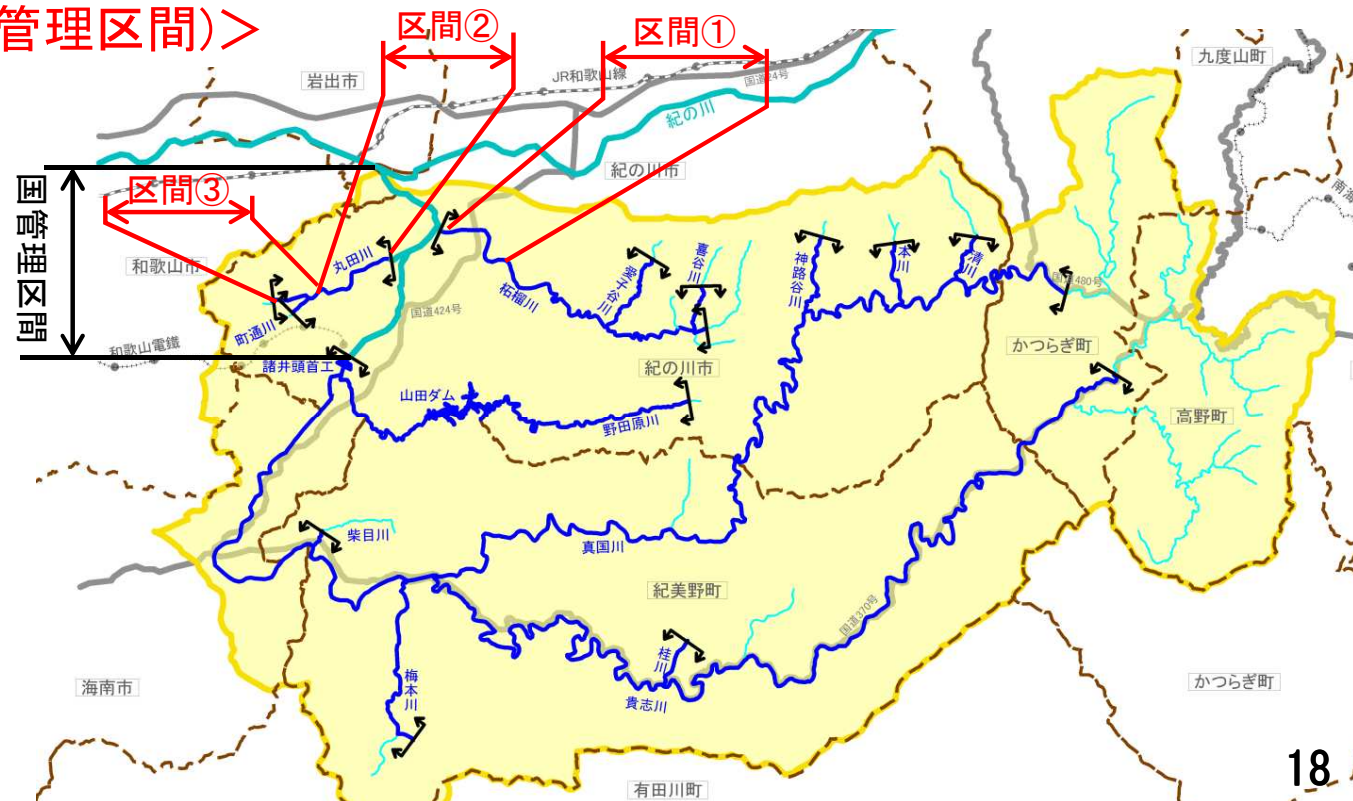
(2) 治水事業の沿革

< 貴志川圏域の治水事業 >

- ◆大正6年9月洪水を契機に策定された「紀の川改修計画(大正12年)」が策定され、昭和25年に貴志川の主要区間の築堤等が施工されたのが始まり。
- ◆昭和28年7月洪水で大きな被害を受けたため、昭和29年に計画を改定。
- ◆昭和40年4月に紀の川が一級河川に指定され、貴志川の6.0km区間は国管理区間となると共に「工事实施基本計画」が策定された。
- ◆県管理区間の河川改修事業は柘榴川や丸田川の一部区間で実施されている。

< 主な治水事業の年度と区間(県管理区間) >

No	河川	改修延長	着手年度
①	柘榴川	2.5k	昭和43年
②	丸田川	3.5k	昭和49年
③	丸田川	1.12k	平成元年



2.1 治水の現状と課題④

(3) 治水の現状と課題 — 貴志川 —

<現状>

- ◆ 紀の川合流から6.0kmの国管理区間では、昭和28年7月洪水対応の河川改修が完了しているが、それより上流の県管理区間は未改修区間である。
- ◆ 平成元年以降も9度にわたり浸水被害が発生しており、特に平成23年台風12号では床上浸水69戸、床上浸水57戸、半壊20戸、全壊流出8戸の家屋被害が発生している。

平成23年9月台風12号洪水時



普段の様子



紀美野町下佐々地区

<課題>

- ◆ 近年、流下能力不足箇所から溢水による浸水被害が発生していることから、治水安全度の向上を図る必要がある。

2.1 治水の現状と課題⑤

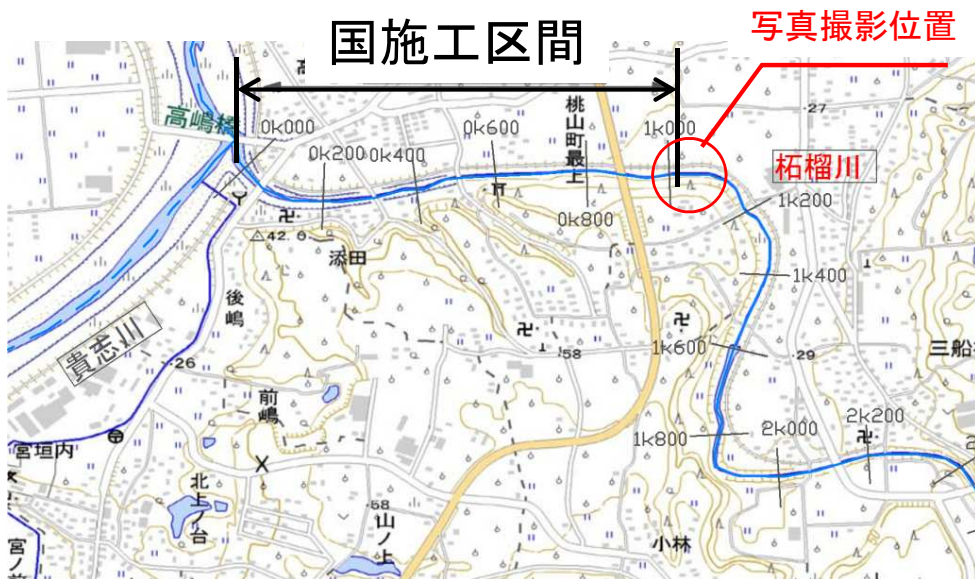
(3) 治水の現状と課題 —柘榴川—

<現状>

- ◆昭和53年6月から7月にかけて紀の川市(旧桃山町)で床下浸水5戸の被害が発生している。
- ◆合流点から1.0km区間は貴志川の改修工事と一体として施行する必要があるため、国による改修が行われている。

<課題>

- ◆築堤河川であり破堤した場合は旧桃山町に甚大な被害が発生すると想定されることから、治水安全度の向上を図る必要がある。



平成26年8月台風11号洪水時



普段の様子



最上新橋より上流

2.1 治水の現状と課題⑥

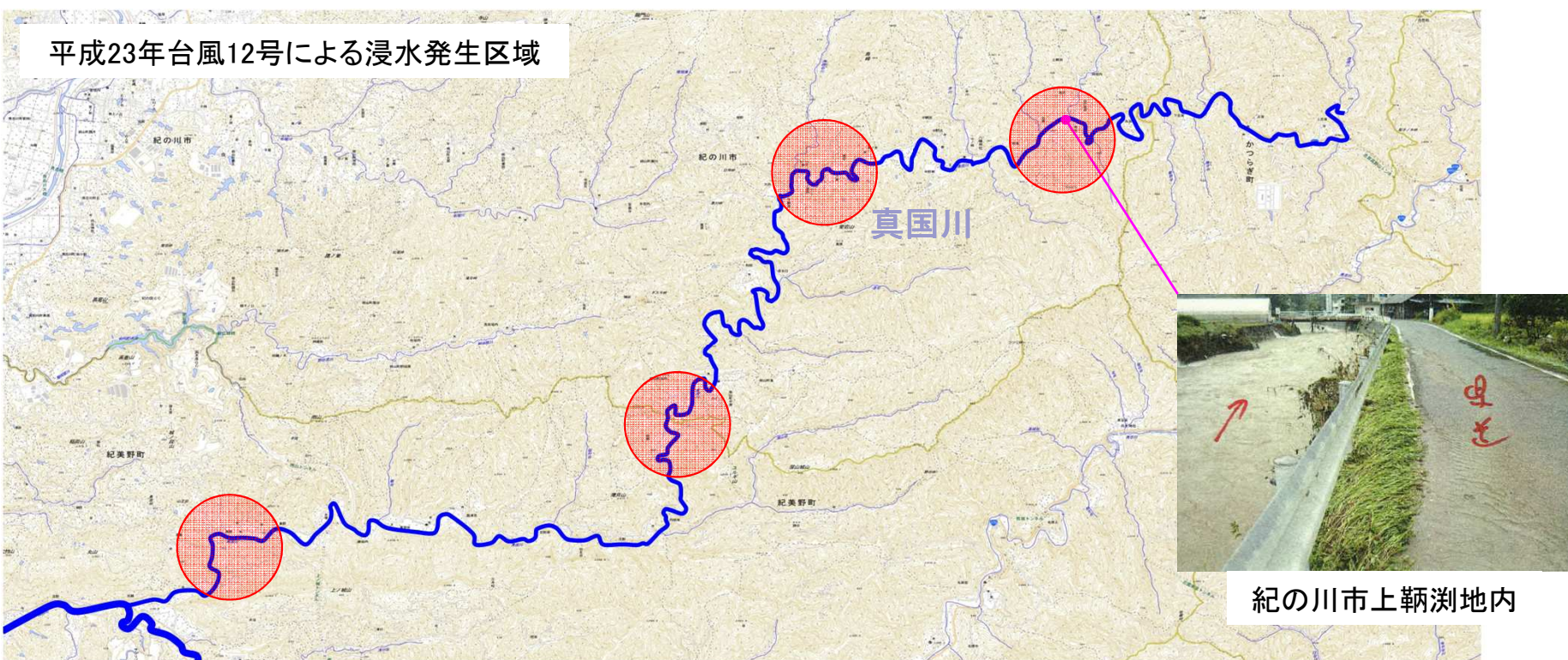
(3) 治水の現状と課題 —真国川—

<現状>

- ◆真国川は、貴志川最大の支川であるが、全川にわたり未改修であり、平成23年台風12号では床下浸水13戸、床上浸水20戸、半壊7戸、全壊流出3戸の家屋被害が発生している。

<課題>

- ◆全川にわたり未改修であり、流下能力不足箇所からは溢水による浸水被害が発生していることから、上下流のバランスに配慮しながら治水安全度の向上を図る必要がある。



2.2 河川利用の現状と課題①

(1) 利水の現状と課題

<現状>

- ◆ 圏域の水利用は、主に農業用水として利用されている他、紀美野町の水道用水として利用されている。
- ◆ 平成13年7月下旬～8月下旬に諸井堰下流(国管理区間)で瀬切れが発生した。

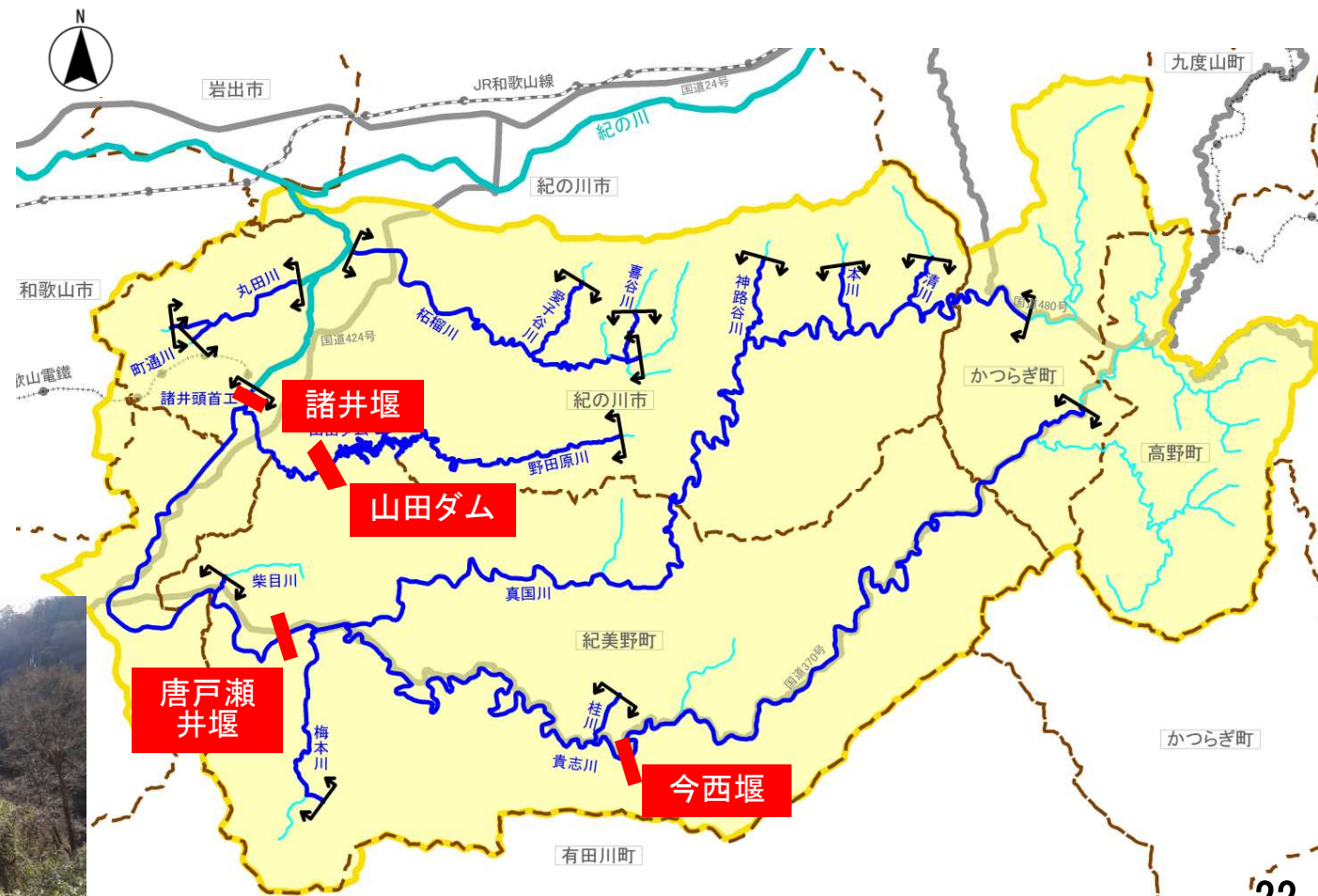
<課題>

- ◆ 近年は営農形態が変化しており、現状の水利用の実態を把握していく必要がある。
- ◆ 渇水時には、円滑な水利用が図られるように、関係機関と調整を行っていく必要がある。

山田ダム(農林水産省所管)

建設年	昭和 32 年
利用目的	灌漑用水補給
ダム形式	重力式コンクリートダム
集水面積	16.4km ²
総貯水容量	3,400,000m ³
有効貯水容量	3,370,000m ³
事業主体	農林水産省近畿農政局

出典：ダム便覧

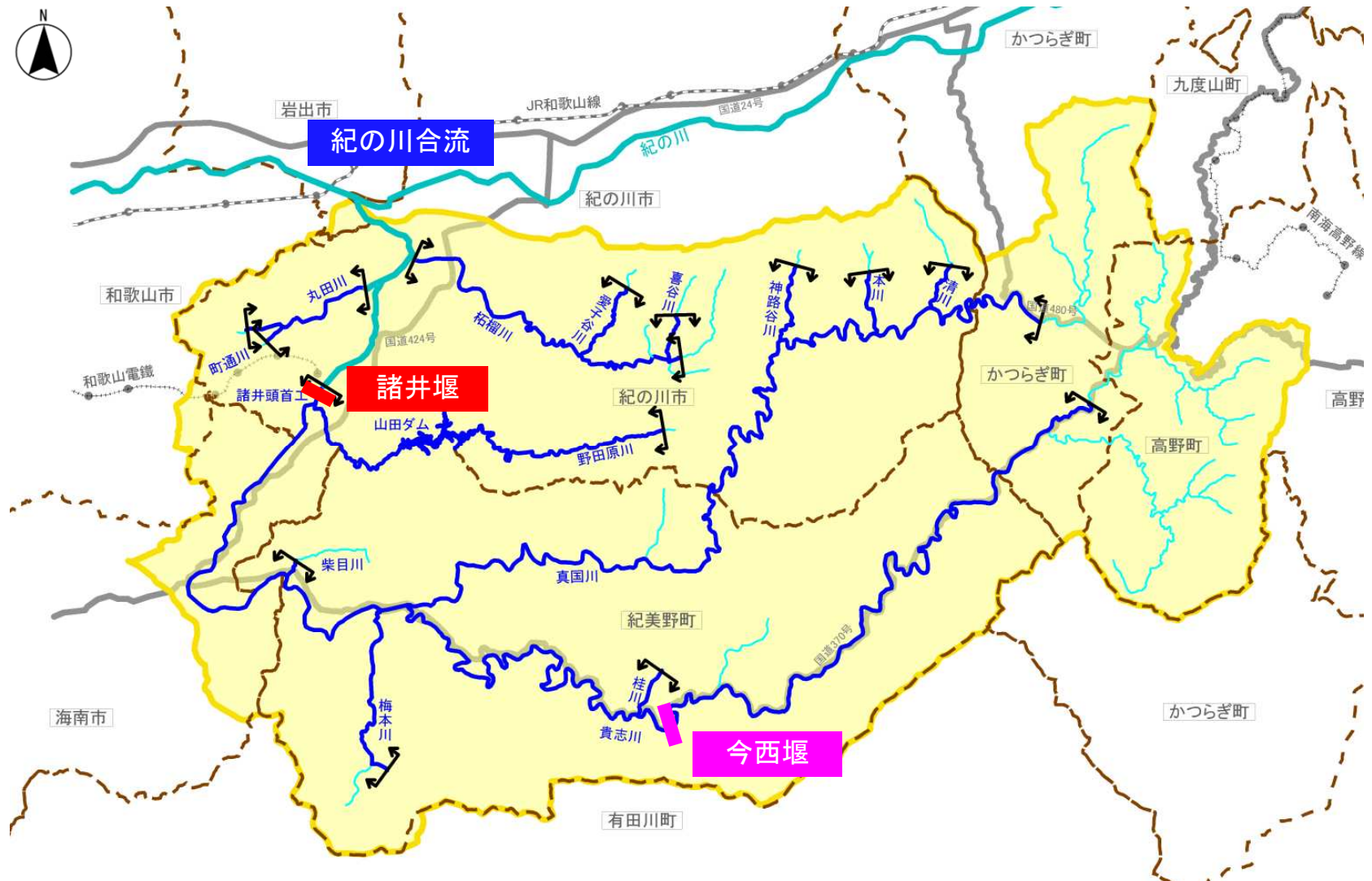


2.2 河川利用の現状と課題②

(2) 河川空間利用の現状と課題① —漁業—

<現状>

- ◆ 圏域ではアユ、紀の川合流から諸井堰までの間ではモクズガニ、今西堰から上流の貴志川圏域ではアマゴが内水面の漁業権として設定されている。



2.2 河川利用の現状と課題③

(2) 河川空間利用の現状と課題② —空間利用—

<現状>

- ◆ 圏域ではホタルの生息場所が多く、貴志川沿いの「きしべの里」(紀の川市)や真国川沿いの「ホタルの里」(かつらぎ町)など数多くの鑑賞スポットがある。



出典)紀の川市ホームページ

きしべの里

天野の里は
ホタルの里

天野の里 真国川一帯は平成元年に環境省の「ふるさといきもの里100選」に認定され、初夏の夕やみの中、源氏ほたるの、うつくしい光の舞が幻想の世界に誘います。

天野盆地の真国川一帯は、6月中旬 初夏の夕やみ 源氏ほたるの、美しい乱舞が見られます。天野米を生み出す田の畦道、また水がはられた田の水面に、ほたるの光が映る光景は天野の魅力のひとつです。

出典)かつらぎ町ホームページ

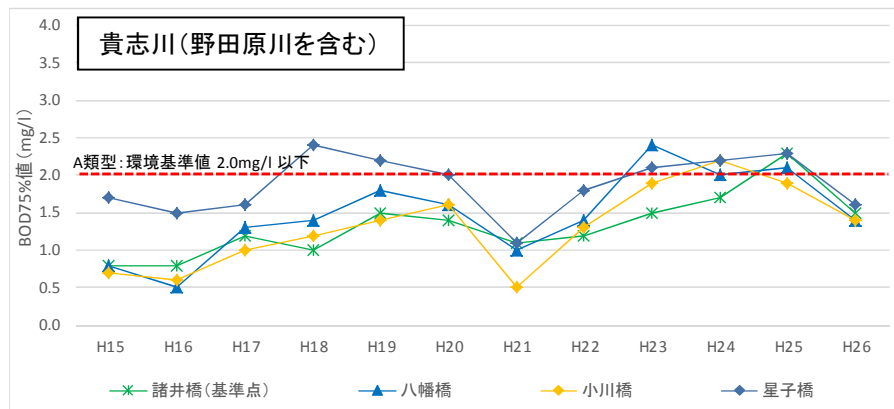
ホタルの里

2.3 河川環境の現状と課題①

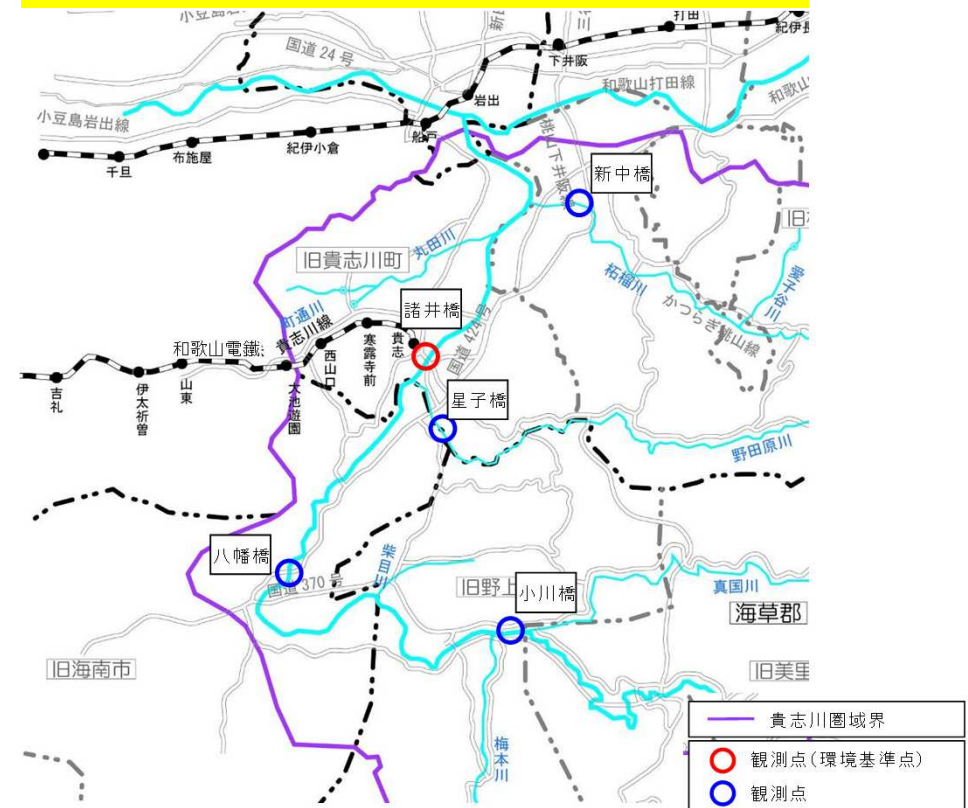
(1) 水質の現状と課題

<現状>

- ◆ 貴志川の水質については、環境基準A類型(BOD:2.0mg/l以下)に指定されており、環境基準を超過している年度もある。
- ◆ 柘榴川では水質の類型指定は行われていない。



水質調査地点(貴志川、柘榴川、野田原川)



<課題>

- ◆ 今後も良好な水質を維持すると共に、さらに改善する必要がある。

2.3 河川環境の現状と課題②

(2) 動植物の生息・生育環境の現状と課題

<現状>

◆河床部は砂泥が堆積しており、早瀬、淵が形成されている箇所があり、砂礫堆や露岩部に植物帯が見られる。このため鳥類等の餌場や休息場となっており、多くの生物の生息・産卵場・採餌場として多様な生息環境を提供している。

■植物

◆水際にはツルヨシやネコヤナギが、堤防付近ではクズやセイバンモロコシが確認されている。

■魚類

◆植生のある水際でスナガニゴイが、泥底の箇所でドジョウが、磯底の早瀬でアカザが、水際の浅瀬やよどみでウキゴリが確認されている。

■鳥類

◆水鳥のオシドリ、マガモ、カワアイサ、猛禽類のミサゴ、水辺を生息地としたイカルチドリ、ケリ、イソシギ、カワガラスが確認されている。

<課題>

◆現況の良好な生息・生育環境を維持・保全していく必要がある。

2.3 河川環境の現状と課題③

(3) 地域住民との連携の現状と課題

<現状>

- ◆河川愛護活動では、河川の美化活動、水質保全に関する啓発宣伝活動、パトロールの実施等積極的な活動を行っている。
- ◆地域住民による草刈りや清掃活動等が行われるなど、地域の河川環境に対する関心は高く、平成26年度には圏域内で6団体による河川愛護活動が行われている。

<課題>

- ◆河川愛護活動に対して、今後も継続的な支援が必要である。

河川愛護活動の状況



貴志川



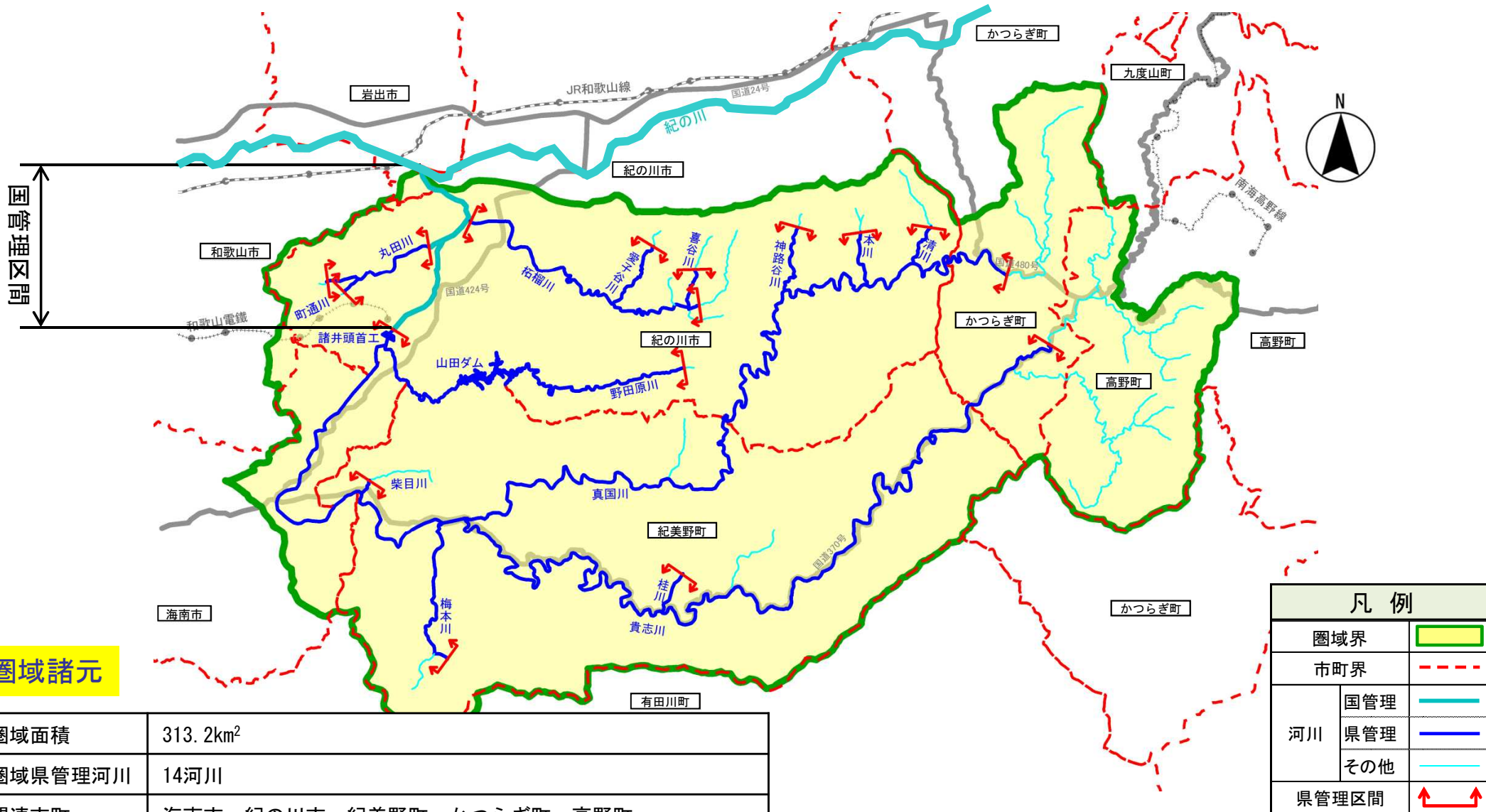
柘榴川



第3章 河川整備計画の 目標に関する事項

3.1 河川整備計画の対象区間

◆紀の川水系貴志川圏域内の河川のうち、和歌山県知事が管理する全区間を対象とする。



圏域諸元

圏域面積	313.2km ²
圏域県管理河川	14河川
関連市町	海南市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、高野町
人口※	15万人（平成22年国勢調査）

※海南市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、高野町の合計

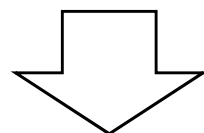
3.2 河川整備計画の対象期間

- ◆本河川整備計画の対象期間は、計画策定から概ね20年間とする。
- ◆本河川整備計画は、現状の流域の社会状況、自然状況、河道状況に基づき作成するものであり、策定後の状況変化や新たな知見・技術の進歩等によって、適宜、見直しを行うものとする。

3.3 河川整備計画の目標に関する事項①

(1) 計画的に河川工事を実施する河川

- 近年、浸水被害が発生した河川
- 床上浸水等、浸水被害が大きな河川



- ・貴志川
- ・柘榴川

※局所的に浸水被害が発生している真国川については、局所対策により浸水被害の低減を目指す。

3.3 河川整備計画の目標に関する事項②

(2) 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する目標①

■ハード対策

貴志川	既往最大洪水(昭和28年7月洪水)の整備には多大の費用と期間を要することから、次に大きい平成23年9月洪水と同規模の洪水に対して、家屋浸水被害を解消することを目標とする。
柘榴川	既往最大洪水(平成13年6月洪水)と同規模の洪水を安全に流下させることを目標とする。

■ソフト対策(超過洪水対策)

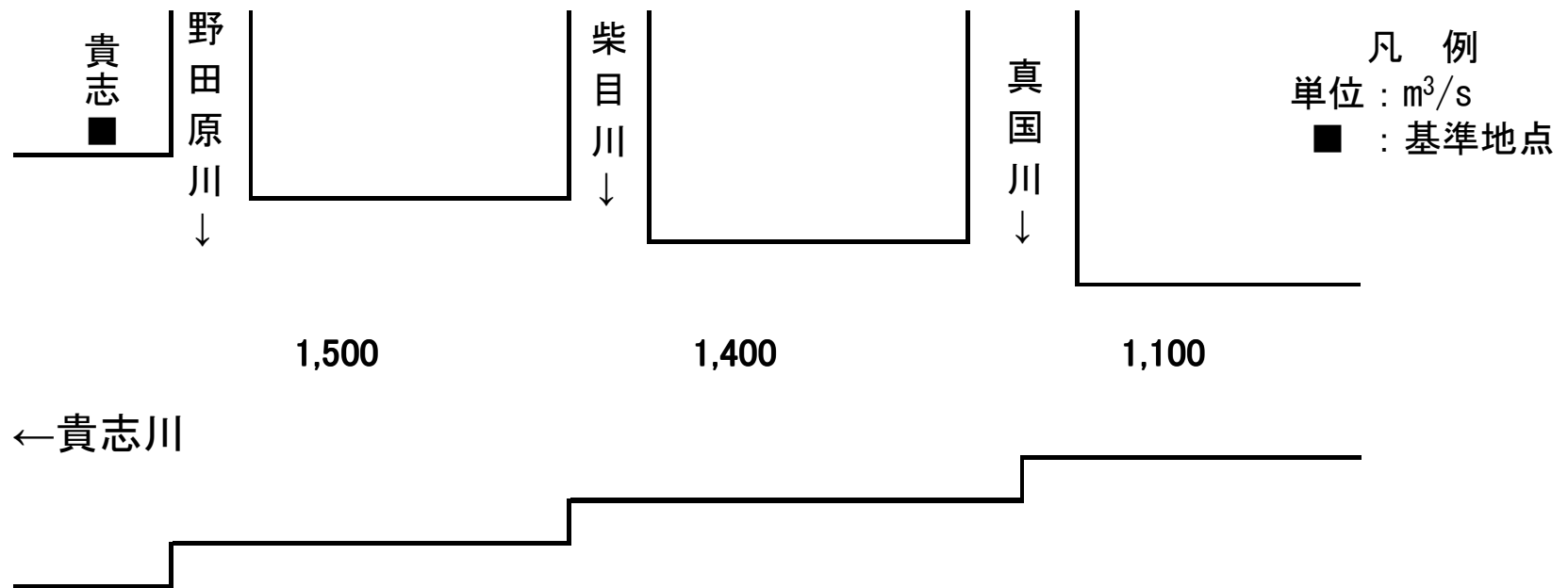
- ・洪水情報の提供(洪水時の水位情報の提供・ハザードマップ等)
- ・水防体制の維持・強化(水防活動等)

3.3 河川整備計画の目標に関する事項③

(2) 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する目標②

■ 貴志川における整備計画対象流量

- ◆ 貴志川においては、貴志川圏域に大きな被害をもたらした平成23年9月洪水と同規模の洪水(1,500m³/s: 基準点貴志)に対して、家屋浸水被害が生じることのないよう、計画区間について河川改修を行うこととする。



(3) 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標

- ◆ 渇水時の被害を最小限に抑えるため、円滑な渇水調整と関係者への情報収集や提供を行えるように、関係機関及び利水者との連携を強化する。

3.3 河川整備計画の目標に関する事項④

(4) 河川環境の整備と保全に関する事項

■ 水質

- ◆ 河川の利用状況、沿川地域の水利用状況、現状の環境を考慮し、下水道整備等の関連事業や関係機関との連携・調整及び地域住民との連携を図りながら、現状の水質の改善・保全に努める。

■ 動植物の生息・生育環境

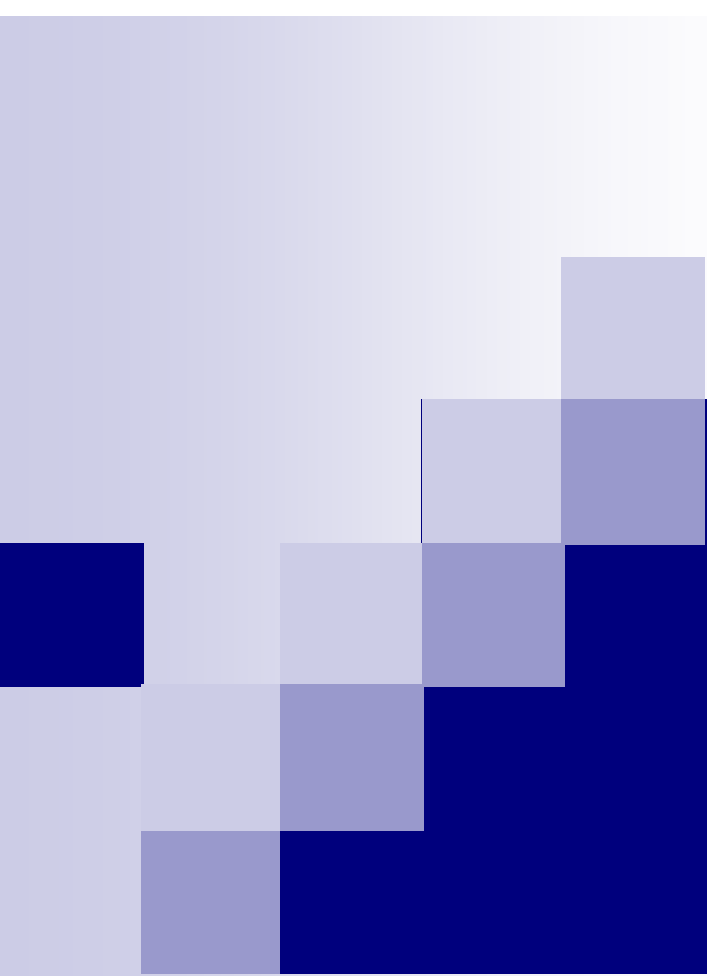
- ◆ 動植物の生息・生育の場として良好な環境の保全、再生及び周辺環境との調和に努める。

■ 河川利用

- ◆ 河川空間は人と自然がふれあえる貴重な空間であるため、河川特性等を考慮のうえ、水辺に近づきやすい工夫や親水施設の整備に努める。
- ◆ 不法占用やゴミの不法投棄等に対し適切な処置を行う。

■ 地域住民との連携

- ◆ 地域住民にとって豊かで魅力ある河川とするため、河川工事の実施に先立ち調整を行う等、地域住民と連携した川づくりに努める。

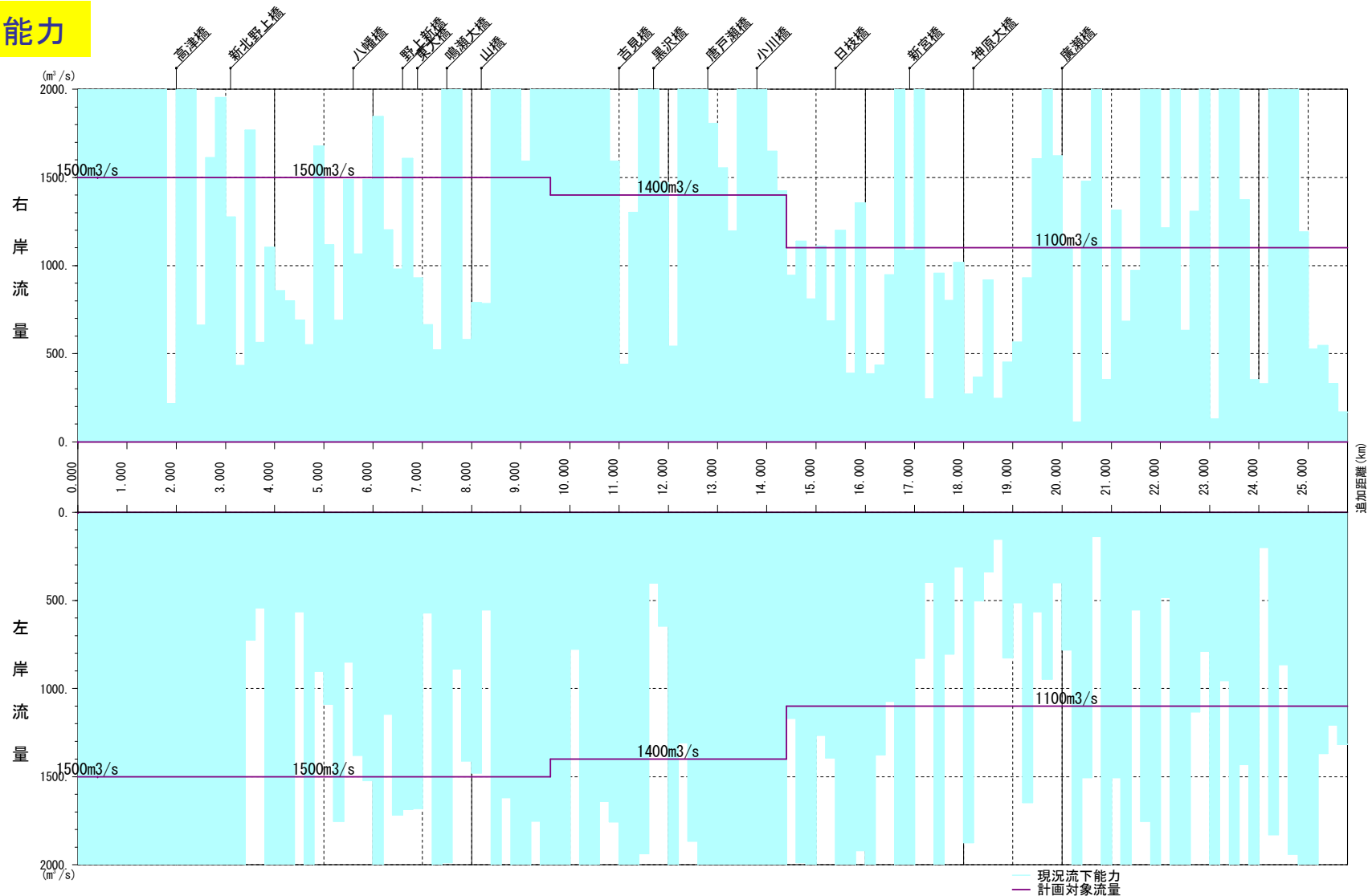


第4章 河川の整備の 実施に関する事項

4.1 河川工事の内容

(1) 計画的に河川工事を実施する区間 —貴志川①—

現況流下能力



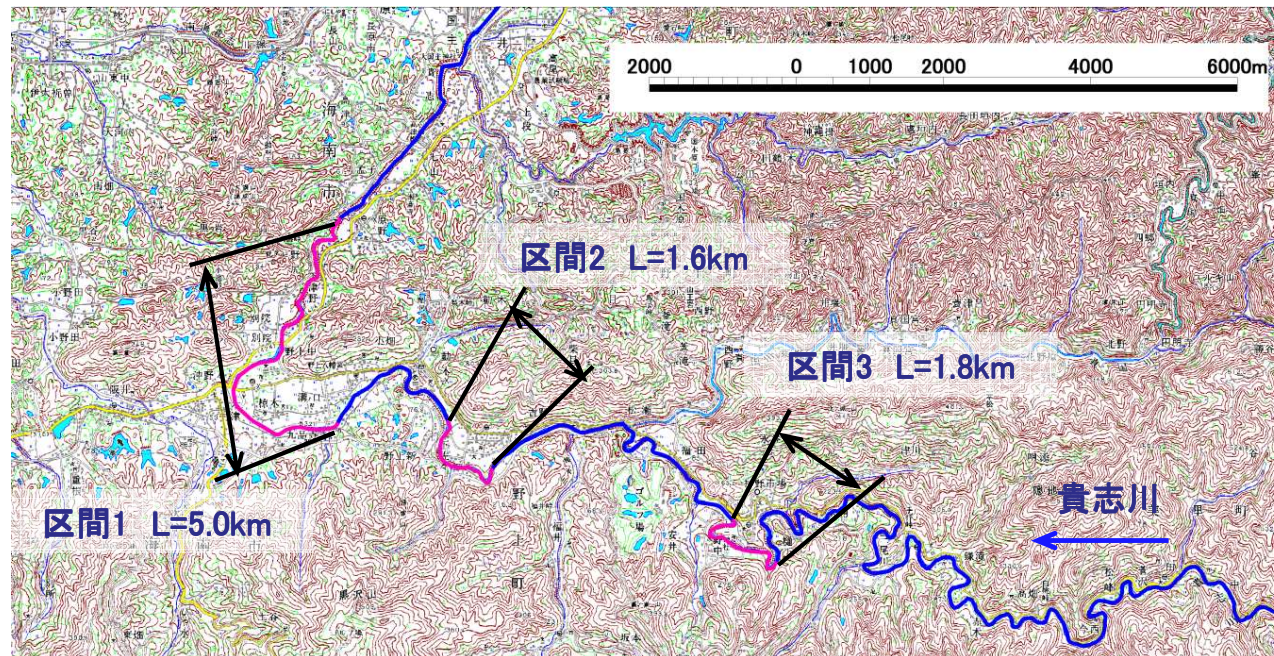
計画対象流量に対して現況河道で流下能力が不足する箇所が多くある場合は、効率的・効果的な河川改修をおこなうために、基本的に背後地が宅地の区間を整備検討区間とする。

(1) 計画的に河川工事を実施する区間 —貴志川②—

整備検討区間

測点(km)	0.0	2.0	4.0	6.0	8.0	10.0	12.0	14.0	16.0	18.0	20.0	22.0	24.0	25.8	
流下能力不足区間	右岸		不足							不足				不足	
	左岸			不足							不足	不足			
H23T12号 浸水実績	右岸		浸水												
	左岸			浸水				浸水			浸水				
河岸の 状況	右岸											山付	掘込	掘込	掘込
	左岸			掘込				掘込		掘込		掘込	山付	掘込	山付
背後地 利用	右岸	農地	農地	宅地		宅地		宅地	宅地	農地	宅地	山付	農地	宅地	
	左岸	宅地	農地	農地	宅地	農地		宅地	農地	農地	宅地	宅地	山付	農地	山付
整備検討区間		区間1:3.4-8.4				区間2:10.8-12.4				区間3:17.2-19.0					

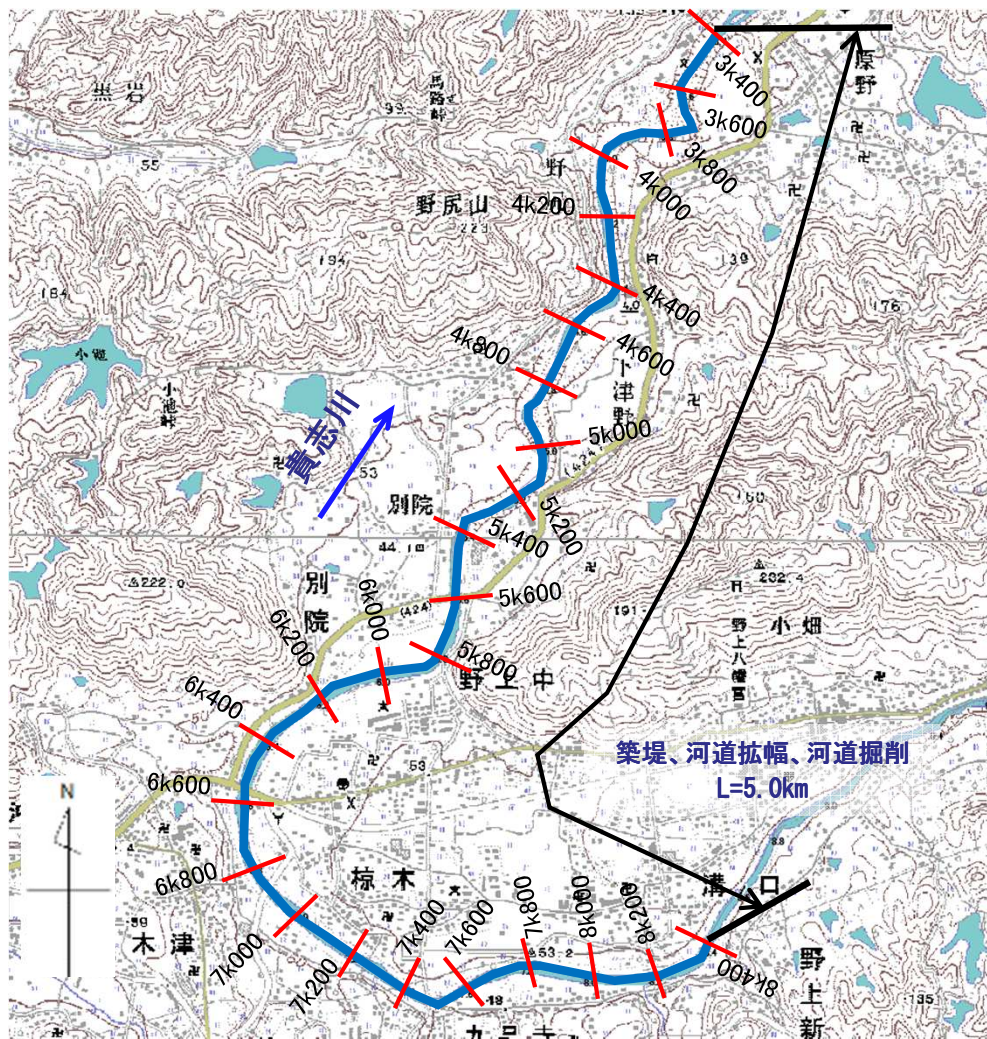
位置図



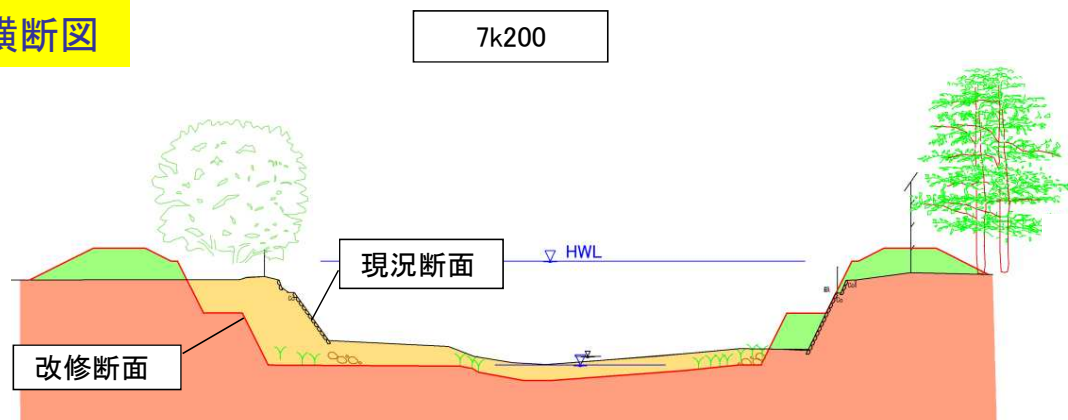
(1) 計画的に河川工事を実施する区間 — 貴志川③ —

区間1: 3K400~8K400

平面図



横断面図

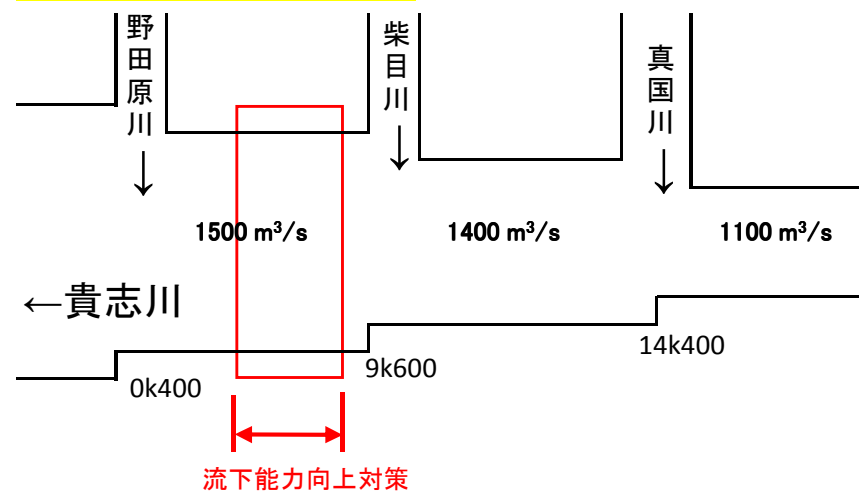


現地写真



- <凡 例>
- 現況地盤
 - 盛土部
 - 掘削部

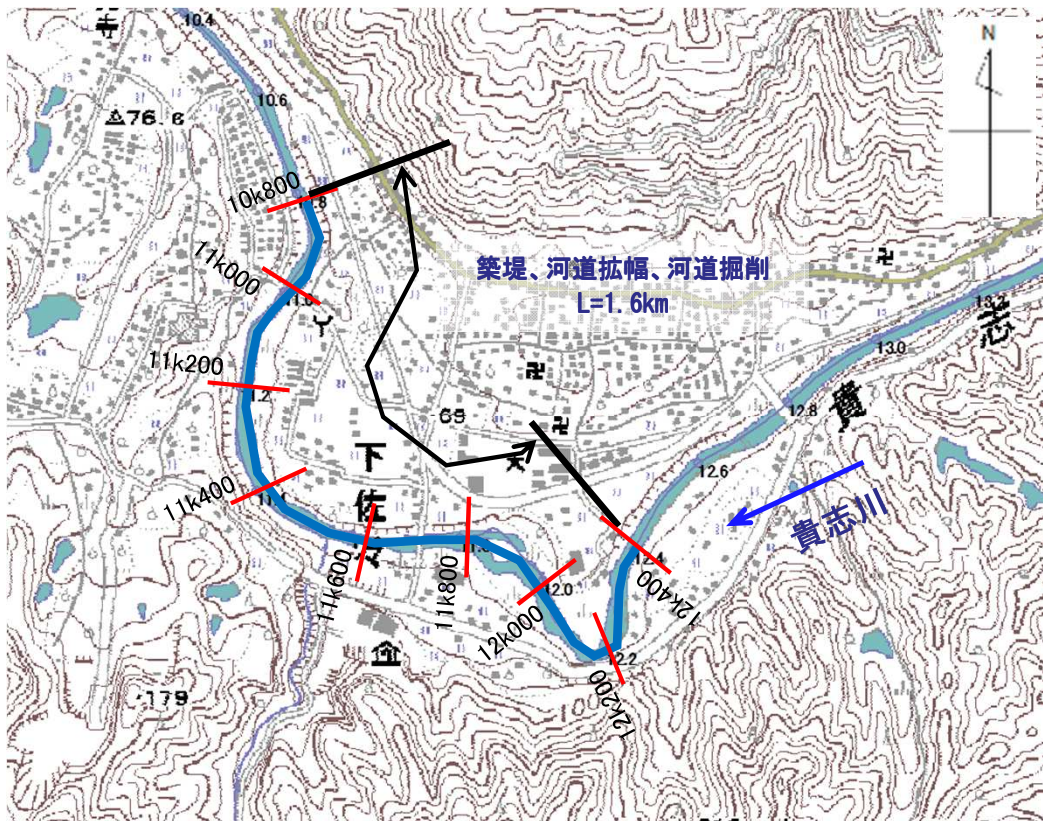
整備計画流量配分図



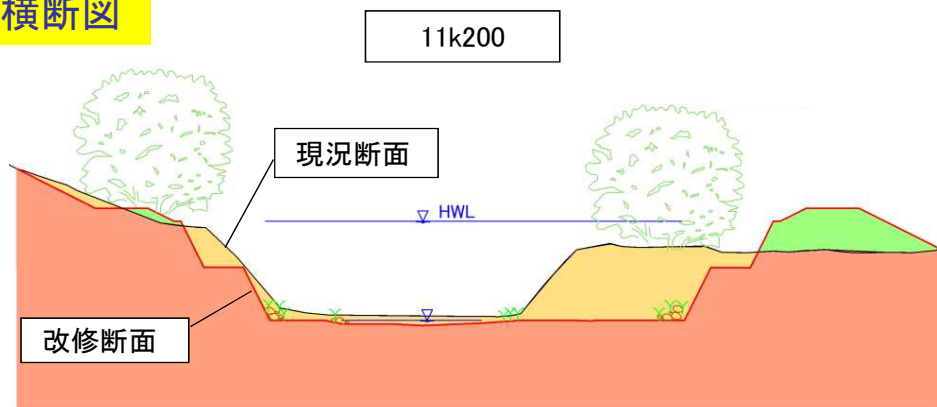
(1) 計画的に河川工事を実施する区間 —貴志川④—

区間2: 10K800~12K400

平面図



横断面



現地写真

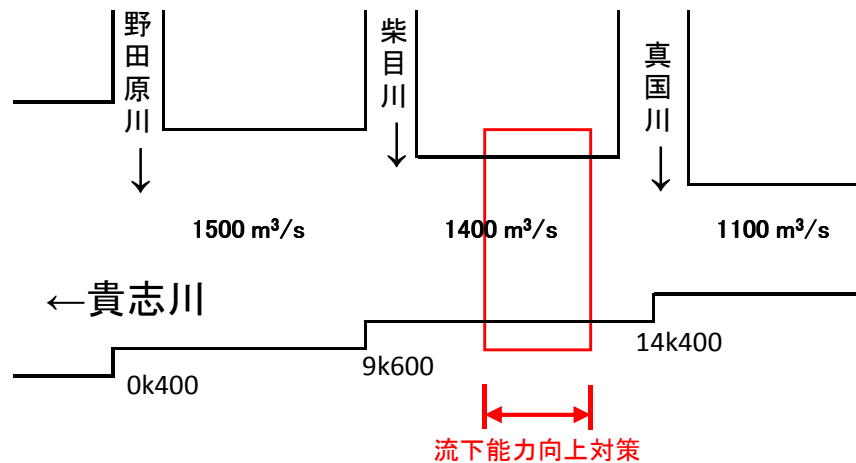


【 11k200付近 】

< 凡 例 >

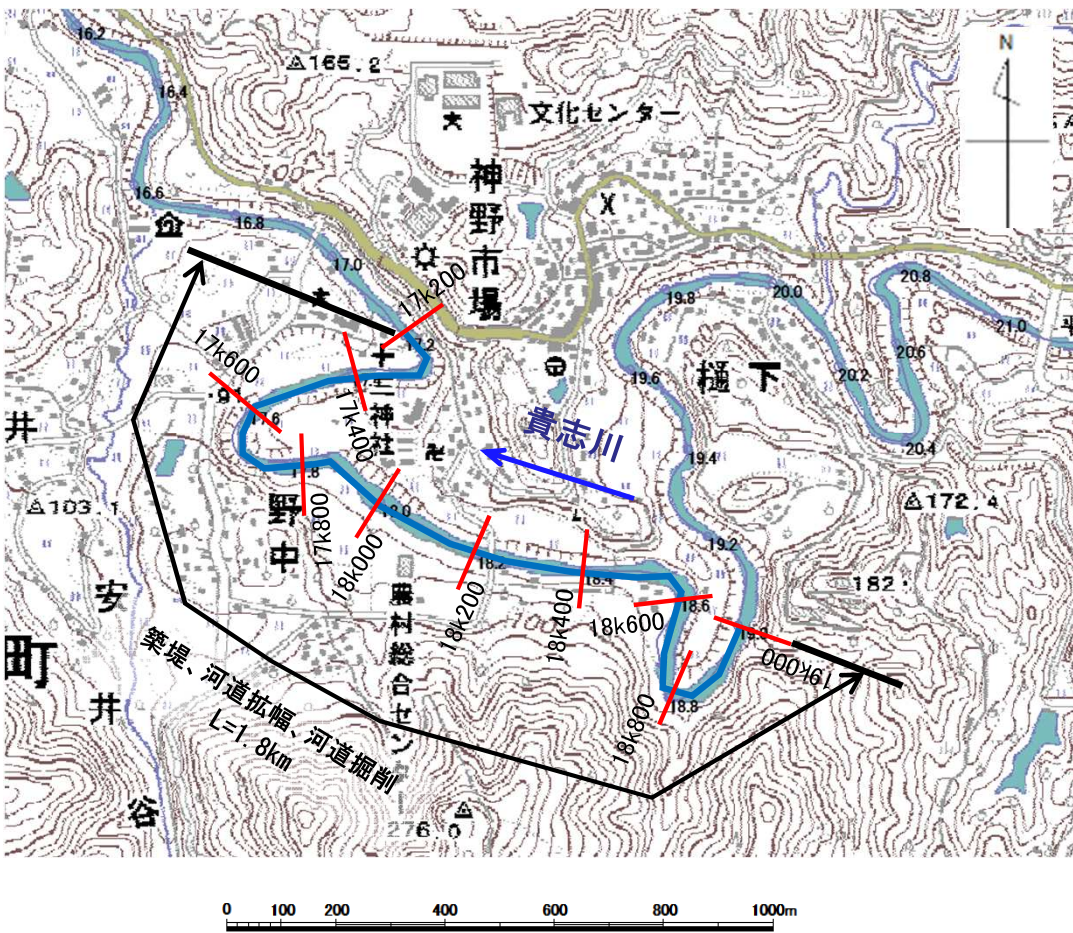
- 現況地盤
- 盛土部
- 掘削部

整備計画流量配分図

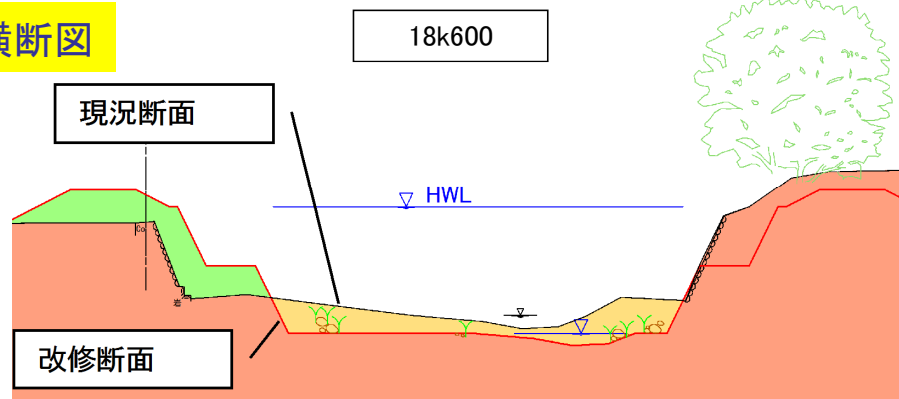


(1) 計画的に河川工事を実施する区間 — 貴志川⑤ — 区間3: 17K200 ~ 19K000

平面図



横断面図

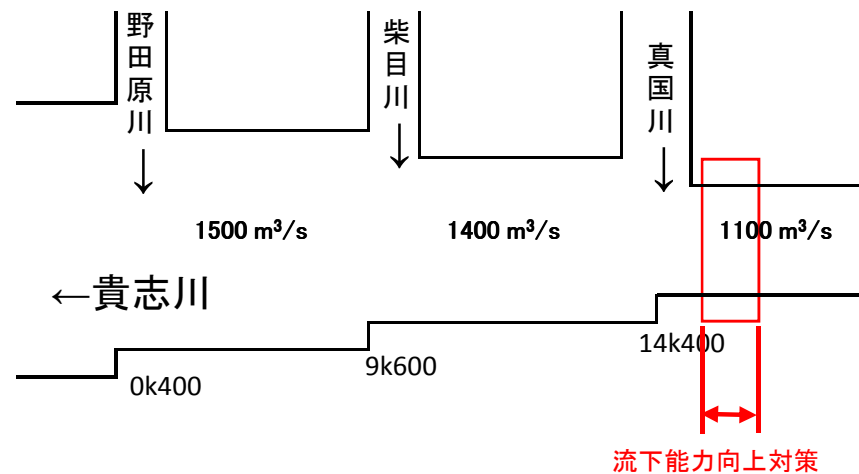


現地写真

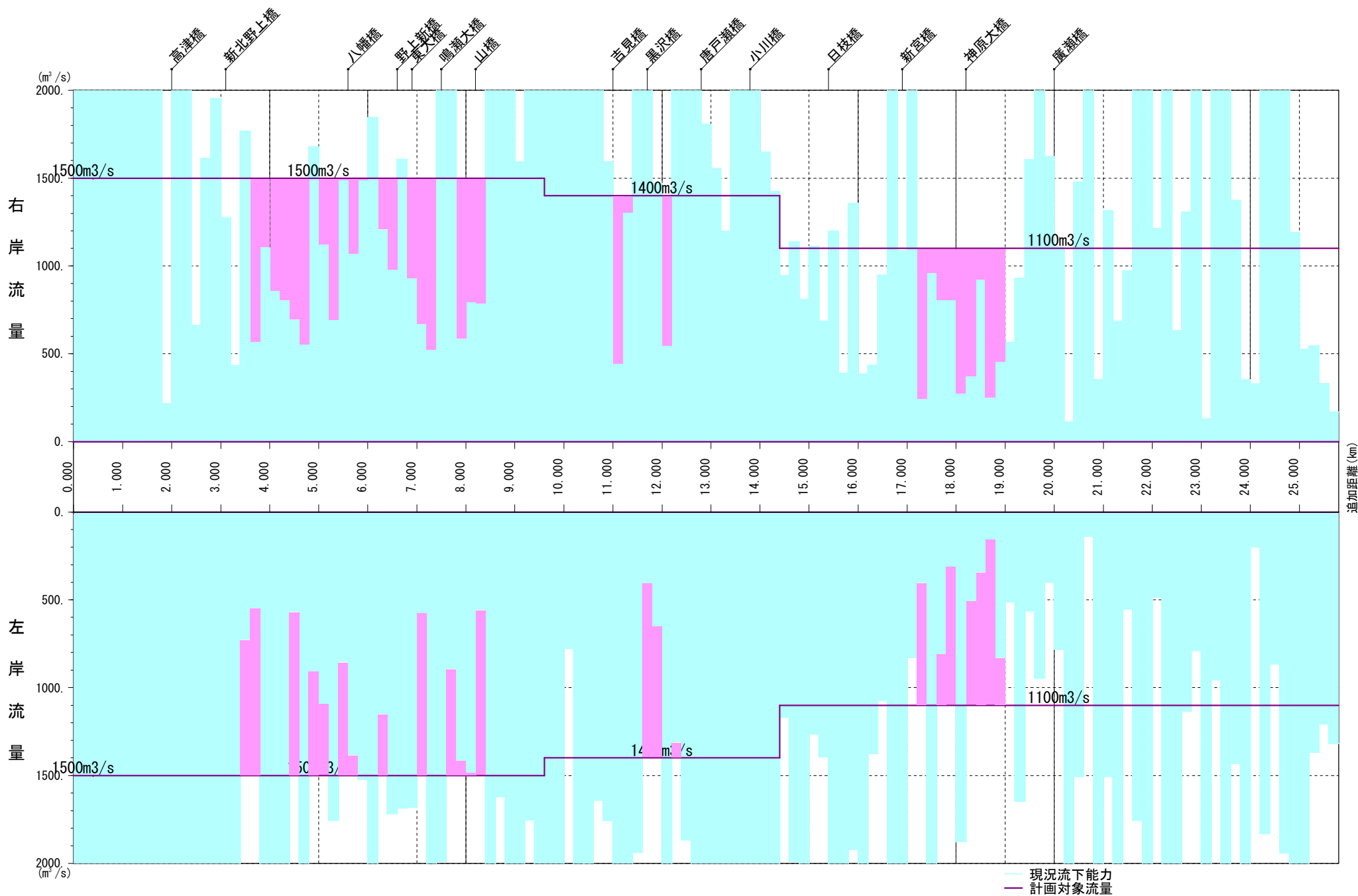


- <凡例>
- 現況地盤 (Orange)
 - 盛土部 (Green)
 - 掘削部 (Yellow)

整備計画流量配分図

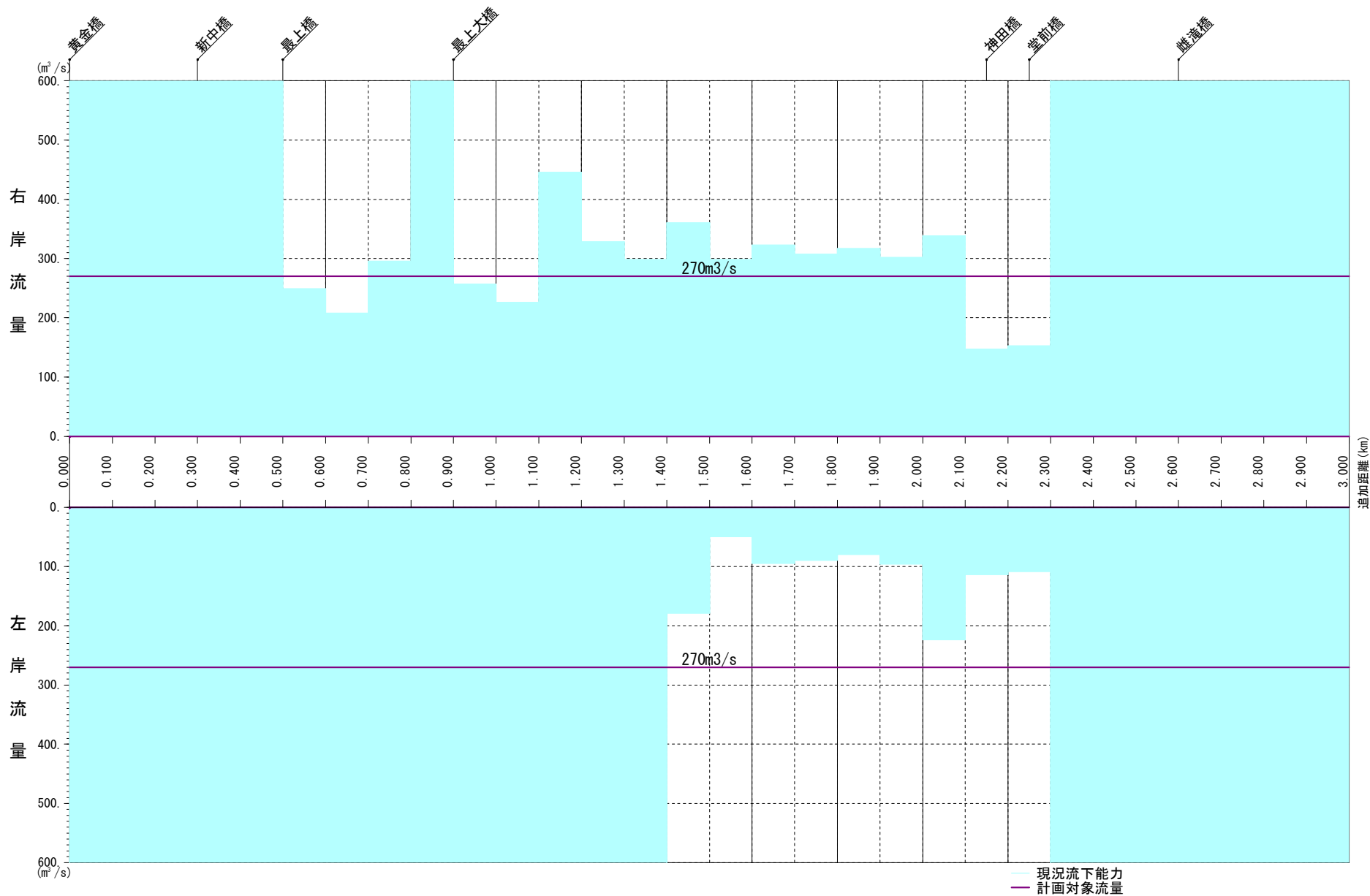


(1) 計画的に河川工事を実施する区間 — 貴志川⑥ —



(1) 計画的に河川工事を実施する区間 —柘榴川①—

現況流下能力

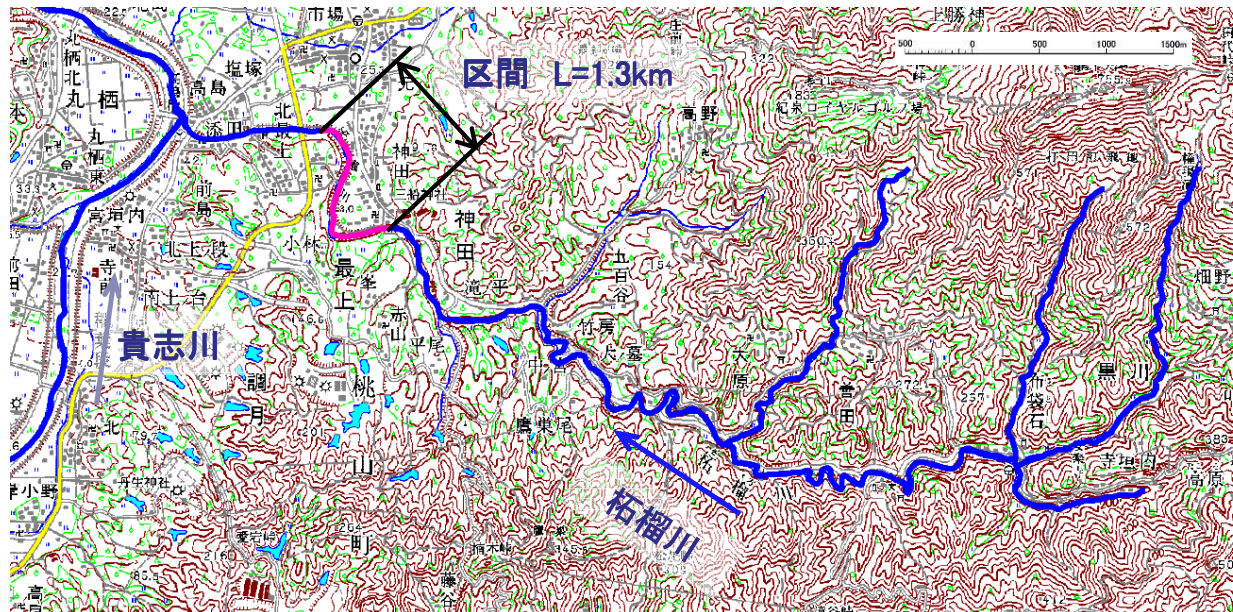


(1) 計画的に河川工事を実施する区間 — 柘榴川② —

整備検討区間

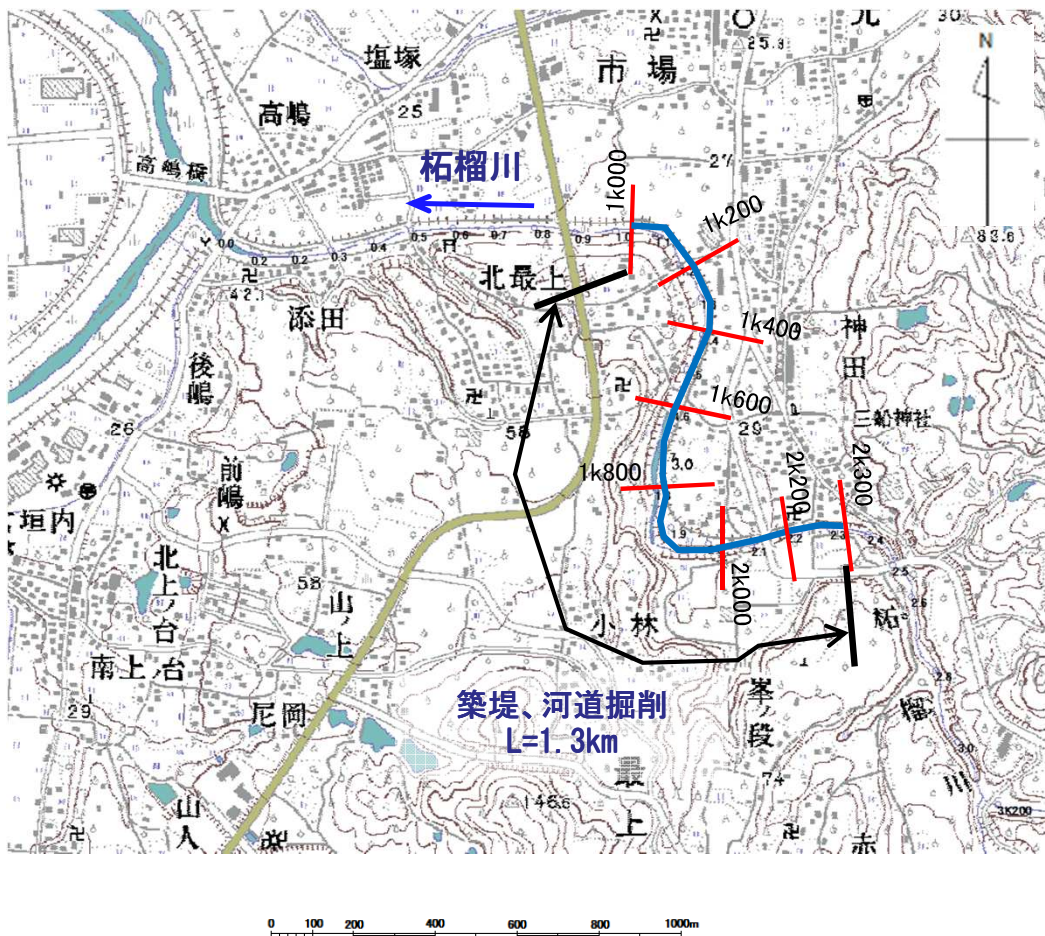
測点(km)		0.0	1.0	2.0	3.0	
流下能力 不足区間	右岸		不足	不足	不足	
	左岸		不足			
H23T12号 浸水実績	右岸		浸水			
	左岸					
河岸の 状況	右岸	築堤			掘込	
	左岸	築堤	山付	掘込	築堤	掘込
背後地 利用	右岸	農地	農地	宅地	宅地	農地
	左岸	宅地	山付		農地	山付
整備検討区間	← 国による河川改修区間 →		区間: 1.0-2.3			

位置図

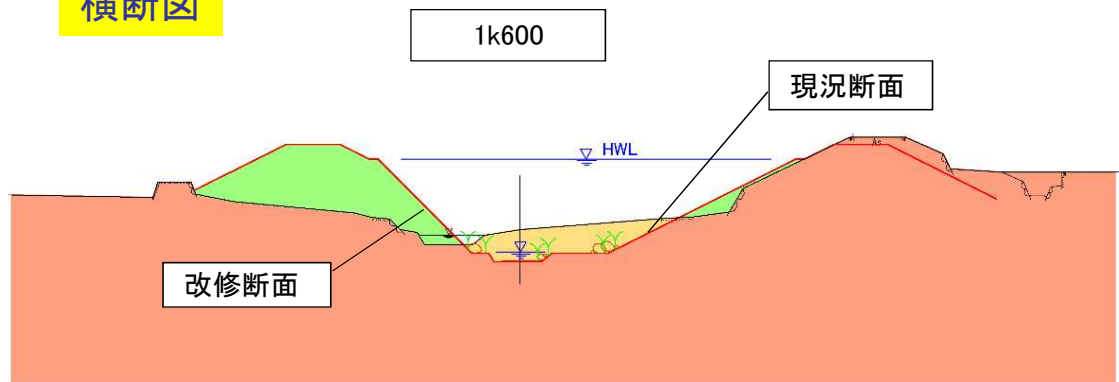


(1) 計画的に河川工事を実施する区間 — 柘榴川③ — 1K000～2K300

平面図



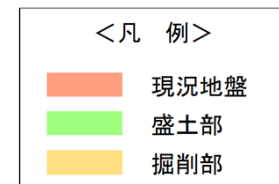
横断図



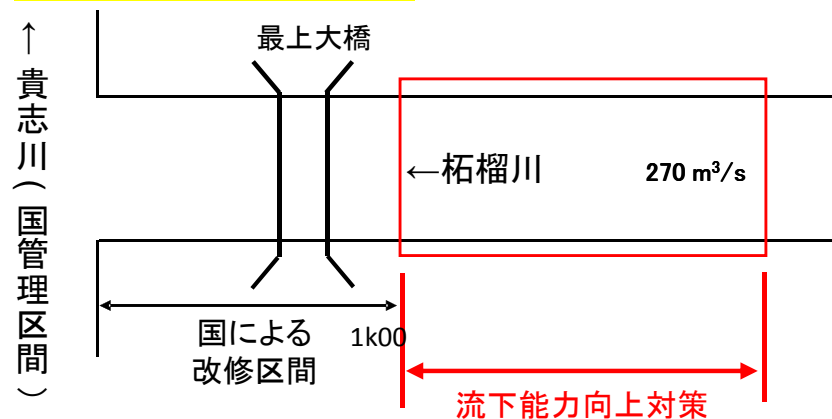
現地写真



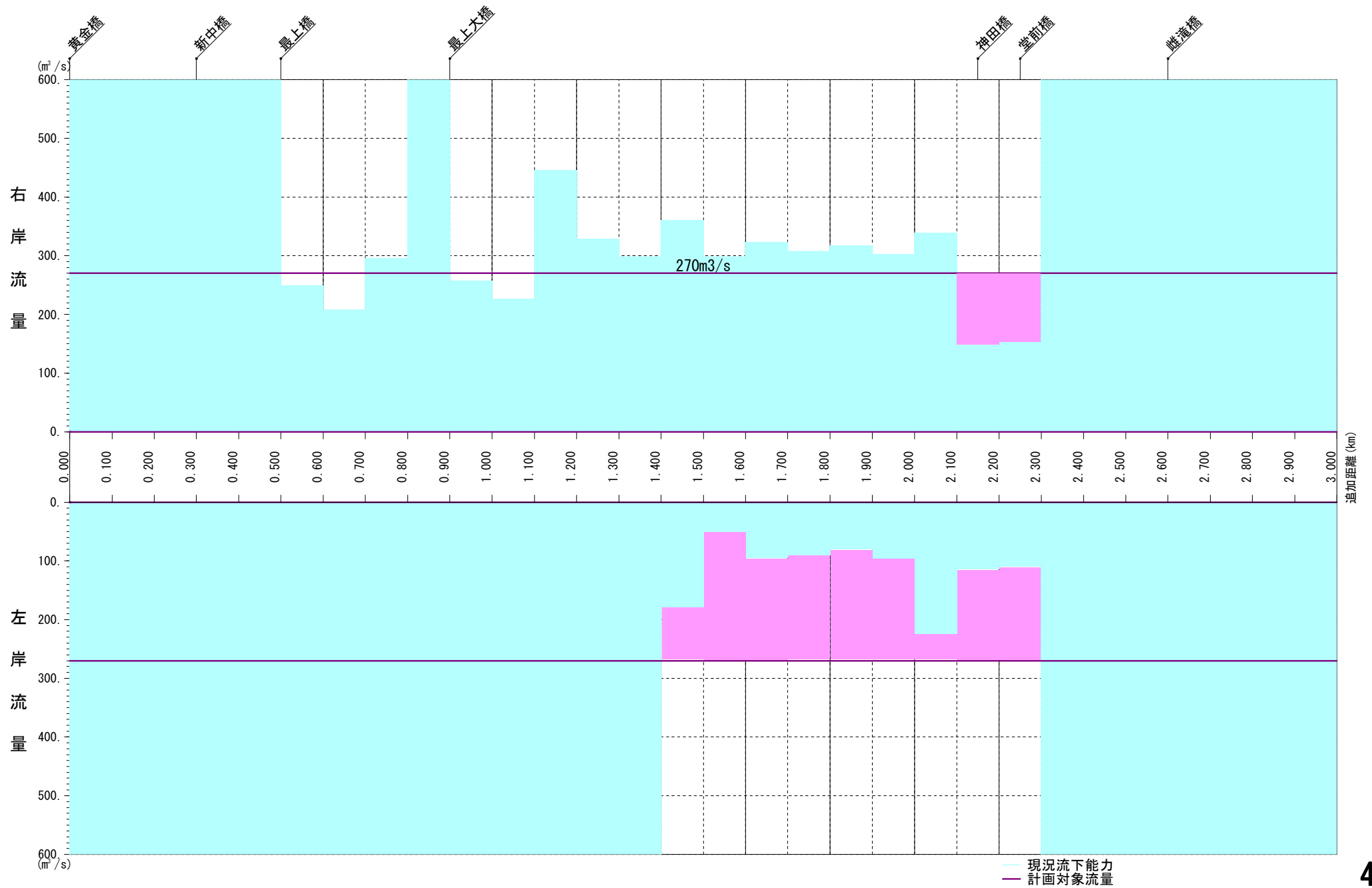
【 1k600付近 】



整備計画流量配分図



(1) 計画的に河川工事を実施する区間 —柘榴川④—



4.2 河川の維持の目的、種類及び施行の場所

【河道の維持】

- ◆河道内において、土砂堆積や草木等の繁茂によって川の流れが阻害されないか点検した結果、治水問題があると判断した場合には、本支川、上下流のバランスを考慮しながら、河床掘削や障害物の除去等による流下阻害対策を行い、洪水時に河川の疎通機能を十分に発揮できるように河道断面の維持に努める。

【河川管理施設の維持管理】

- ◆堤防、護岸等の河川管理施設については、洪水に対して所要の機能が発揮されるよう、平常時の巡視や点検時に施設の損傷、不具合等の確認に努め、機能の低下を防止するための修繕を行うと共に、施設自体の質的低下を防止するための補修等の対策を行う。

【水量・水質の保全、向上】

- ◆関係機関との連携のもと、経年的な水位や水質の観測データを収集し、水量や水質の現状を把握するよう努める。
- ◆流入負荷軽減に向け、発生源の対策、河川環境保全の意識の啓発など自治体・地域と協働し、水質の保全に努める。

4.3 その他河川整備を総合的に行うために必要な事項

【河川情報の提供による水防活動の支援】

- ◆整備途上段階で現況流下能力以上の洪水や整備目標流量を上回るような洪水が発生した場合に、甚大な被害が予想されるため、圏域自治体、地域住民等と密接な連絡や協力を保ち、降雨時の雨量・水位等に関する情報を幅広く収集し、提供することによって住民の迅速な避難及び水防活動を支援し、被害の軽減に努める。

【地域や関係機関との連携等に関する事項】

- ◆河川と地域の関わりなどに配慮しつつ、治水、利水、環境の目標が早期に達成されるよう、地域住民との調整や関係機関との協議を行う。
- ◆河川情報の共有、地域団体等が自主的に行う清掃活動等の支援、必要に応じて維持管理手法の調整など地域住民等との協働・連携に努める。

【森林保全】

- ◆圏域の森林が適正に保全されるように、関係自治体、住民を始めとする多様な主体が行う森林保全に向けた取り組み等と連携を図り、河川管理者が行う広報活動を通じ周知、啓発に努めることとする。



貴志川流域を考える会で いただいた主なご意見

河川名	項目	ご意見	県の考え方
河川整備の実施に関する事項			
貴志川	1	八幡橋周辺の土砂堆積が問題である。H23年災害では学校のグラウンドが利用できない等の被害があった。早急に対策をしてほしい。	御意見のあった区間は、流下能力向上対策として、計画的に河川工事を実施する区間として位置付けています。
貴志川	2	貴志川において、浸水想定区域図の作成がまだなので策定してほしい。	今後、貴志川流域においても浸水想定区域図の作成の必要性について検討していきます。
貴志川	3	八幡橋から野上新橋までの左岸側の国道424号の低地箇所の整備は行うのか。	御意見のあった区間は、流下能力向上対策として、計画的に河川工事を実施する区間として位置づけており、国道424号の浸水対策については道路事業と連携して進めていきます。
全河川	4	最低限として人命を、次に財産といったように、順位付けをして河川改修を行うべきではないか。その中で、例えば紀の川合流点の掘削や土砂流出を抑える雑木林の植林等の中で、優先すべき整備を行う必要がある。	貴志川において、将来的には既往最大洪水(昭和28年7月洪水)に対応するものとしますが、早期に一定の整備効果を発現させるための段階的な整備として、次に大きい平成23年9月洪水と同規模の洪水に対して家屋浸水を解消することを目標とし、それを超える規模の洪水に対しては、何としても人命を失わないようソフト対策を実施することとしています。
全河川	5	田畑の放棄地へのゴミ等の不法投棄によって水質汚染が懸念される。	河川の水質については、流域自治体や関係機関と連携し、指導や啓発を行う等改善・保全に努めます。
全河川	6	河川整備だけでなく、山林整備も課題ではないか。	流域の森林が適正に保全されるように、関係自治体、住民をはじめとする多様な主体が行う森林保全に向けた取組と連携を図ってまいります。
貴志川 (紀の川)	7	岩出頭首工が一番問題だと思う。県からも協力をお願いしたい。	引き続き県からも要望していきます。
貴志川	8	貴志川の諸井堰から紀の川合流点区間の浚渫をお願いしたい。	引き続き県からも要望していきます。

河川名	項目	ご意見	県の考え方
河川整備の実施に関する事項			
貴志川	9	野上新橋から下流が浸水等の被害が大きい。その間はどのような河川改修工事を計画されているのか。	築堤・河道拡幅・河道掘削を計画しています。
全河川	10	浸水家屋をなくすという一番大切な目標はよく分かるが、魚の住む綺麗な川にすることも考えてほしい。	河川環境にも配慮しながら河川整備を進めていきたいと考えます。
貴志川 真国川	11	真国川と貴志川の合流点付近に土がたまっている。局所対策を実施しても下流がたまっていると水が流れないと思うので、そこから対応するべきではないか。	現場の状況を確認しながら対応していきます。
全河川	12	将来的にハザードマップを作成する予定であるので、浸水想定区域図の作成をお願いしたい。	浸水想定区域図の作成の必要性について検討していきます。